

ふびんど

号261

1983.6.6

谷津干潟愛護研究会
〒250 習志野市谷津字七 鶴荘E号
電話〇四七四一51一五〇四四
文責 森田三郎

会費 年2000

創立
1974.12.9

町会」が協力をして

くれました

「……今度、皆さんがしてらっしゃるクリーン作戦に、私産の町会も協力したいと思ひます」。

この言葉、このひと言……。想えば、長い、そして、激しい活動の日日でした。

「ええ……？、ちよ、ちようかい、町会費」ですか？、皆さんのですかあ。

あのあ……、個人のカニパじゃなくてですかあ、……へえ……」と、そ

れを言ってくれた町会町さんの言葉を、失

れながら、申し訳ないながら、正直言って受けとめきれないでいた。更に又、こ

れから、クリーン作戦のことを、町会の回らん板で回してくれよとのことでした。

所は、干潟をすぐ前に望む、谷津三丁目、谷津干潟が「ふかんど」と呼ばれていた頃

から住んでいる、昔の虚寒の海を知り、経験して来た人産の古い町である。

その言葉を聞いた時、私は、一瞬、唯一人、文字通り素手で始めて以来の、この方

々々さまの場面が、生々しく想ひ起されたのであった。みぞれ、雪、木枯らし、汗

と炎天下、ドロ、砂、水、ドロく、とした生ゴミの感触と悪臭。荒い呼吸、背骨のきしむ思い、手袋の中の血でべっとりとした

手。エノウ袋のムとして、又ム。一輪車のきしむ音、通りかかった人やゴミを目の前で捨てていく人の、バ声。三米程のゴミの山の下から、二十数年ぶりに再び合見た昔の砂浜。くまでの先に伝わる、残土やガラスや石やふとんや鉄板や灰の感じなど……。

この言葉が出てくるまで、そしてそうなるまで、およそ十年かかりましたと、それが実感であり、今はここで、そう書くのがやっとである。

「あたし産が、拾ってと……、すぐと横でゴミを捨てに来るし、せっかくきんにしてと、次に行ってみよと、又ドサツと捨てて外でいるんで、みんながっかりしちゃうね……」と、クリーン作戦に参加して

いる、主婦の姿であり、ただ宮々と続けて来た「長リトネン」の頃の感慨なのであろう。

「初めて、森田さんを見た時、象にアリン坊がたかっつりしてみたりだったわあ」と。

この度の、町会による協力は、谷津干潟保存運動上、最も大きな、そして重要な転換期である。毎日の、活動のまっ只中における私産にしてみれば、おそろしく、正確な客観的判断は期し難いに違いない。

でと、少なくとも、谷津干潟にとって、一つの曙光」が、新しい地平線が、ゆっくりとその姿を現し始めた。私産は信じている。

「谷津干潟クリーン作戦」には、いろんな人が、いろんな形で協力してくれています。どうもありがとう。

町会長さんが、会員になってくれました。どうもすみません、ありがとう。

昭和58年5月31日

習志野市市長
三上文一 殿

財団法人 日本野鳥の会
会長 山下 静一
日本野鳥の会 千葉県支部
支部長 高橋 敏夫
谷津干潟愛護研究会
会長 森田 三郎

谷津干潟バードウィーク・フェスティバルのご報告及び、
同干潟の国設鳥獣保護区化推進のお願い

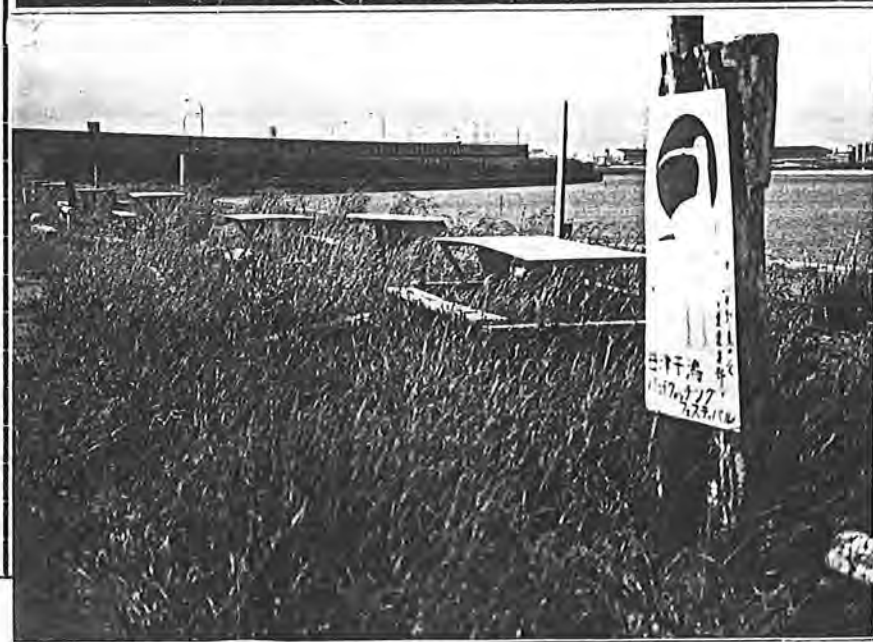
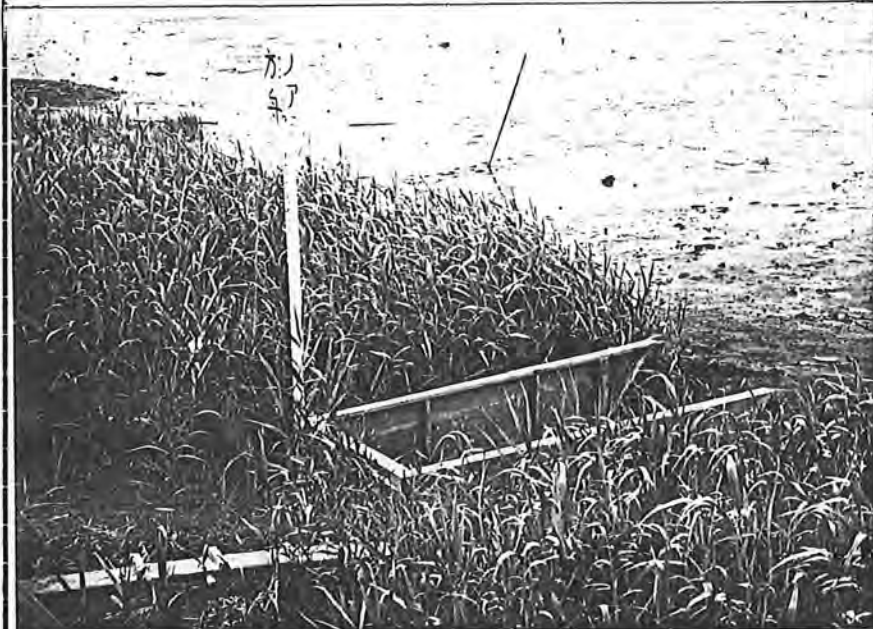
拝啓 新緑の候、益々ご清栄のことと、およろこび申し上げます。
さっそくでございますが、過日申し上げました、5月15日の「谷津干潟バードウィーク・フェスティバル」について、ご報告申し上げます。
当日は、五月晴れに恵まれ、フェスティバルは大盛況でした。市民の方々は、午前10時頃から三々五々と干潟に来られ、午前11時の開会のときには、すでに200人を越えました。その後も、家族連れの方々を主とし、参加者は続々と増え、最終的には約1,000名となりました。
また午後には、付近の秋津二丁目の子供会の親子、70名も青空教室を開き、日本野鳥の会千葉県支部の幹事が、干潟の生物・鳥類について指導をしました。

谷津干潟は、渡り鳥にとって、日本でも有数の渡来地・通過地であるばかりか、それが市街地と隣接していることにより今や、社会教育的に見てもきわめて大きな意味をもってきました。今後、住宅化が進むにつれて、社会教育的な比重は増す一方となるでしょう。

その意味からも、地元の習志野市当局のご協力をえて、国設鳥獣保護区化を推進していただきたく、ここをお願いいたします。

また、この問題に関し、今後、定期的な話し合いの場がもてれば幸いと考え、併せてお願い申し上げます。

敬 具



今日のごろ

傷ついたシグミン

窓にぶち当たって、飛べ
ないでいます。船橋御
地内で。取負の人がよく
庫絡に来るのです。

ヨシの中のノアの方舟 はこぶね

水上観察舎の前にあります
。すつかり、子供産の遊び場
になってしまいました。当分
よそへは行かないでしょう。

夏草に埋まるベンチ

流木なテーブルとベンチが
、草いきれの満ちた夏草に埋も
れていくようです。皆んな、こ
れがいいと、そう思っています。

ふぐんど

№262号

1983.6.15

谷津干潟愛護研究会
 〒270 習志野市谷津三十七 鶴荘E号
 電話〇四七四一五〇四四
 文責 森田三郎

会費年2000

創立
1974.12.9



多大の精力を要す、
 コアシサシ・シロチドリ・コチドリ
 の繁殖踏査。それへと駆りたてた原動力。思うに、白き貝ガラと熱き砂、草原と潮風、夏雲と砂じり、渡り鳥の声と風紋、夏草の葉が木の音と水溜まりであった。



ヒナを見る子供産に、
 コロニーの九年を憶う

5月29日。秋津田地の親子川人々、
 カメラマンの五十嵐氏と共に案内した。
 幕張A地区。かつて、荒川の河口から
 コニナ葉花見川かけてが、私の踏査

範囲であった。9年間の流れは、コロニーを、
 沖へくと、そして、西へくへとその生息の
 規模を小さくしながら、追いつめていった。

今日この日、子供産がその子の平に、ヒナを
 のせていよこそこそ、沖の、その西の、まさに行
 き止まりの所であった。私の脳裏に映るのは、
 子供でヒナでもなく、あまたの回想であった。



コロニーからのお便り(コアジサシ繁殖踏査より)

メダカの池に、ゴイサギ・カモ・コサギが来た

野犬の害が公表されたのは、今回初めてです

人が帰ったその後に、そっと夕方、人影が絶えた頃、かれらは舞い降りてくるのです。

カルガモやコサギは、昼間でも、人の姿がなければ、メダカの池でエサをついばんでいます。ゴイサギは、夜行性なので、日が暮れるればやって来ません。

同じ野鳥が来るにしても、自分産か手作りで作った池に、いろんな種類の野鳥が来ているのを見るのは、たまらなり満足感があるのです。この三種の他、スズメ、セキレイ、カラス、ムクドリ、ツバメ、カラヒワ、ヒバリ、セツカ、そしてコウモリも来て、池の上空でヒラヒラと飛んでいる。

トイレットペーパー96ロール、生協(秋津)から頂きました。

私産が、清掃と紙の備えつけをしている、「秋津五号児童公園」に利用するつもりです。

今日の中頃、電話が森田の所へかかって来て、「用意してありますから、都合の良い時に取りに来て下さい」とのことでした。でど、下りとはいえ、94ロールを入った大きな段ボール箱を、一人でかついで来て、ソングのは、ちよっと骨が折れました。

初めの頃は、わざと汚くしたり、いたずらとりましたが、そ外に負けずにやっていくのが、だんくときわになりました。

トイレットペーパーって、案外使うんですよー---

野犬は、京葉港・幕張埋め立て地で、少なくとも、私産の見ている限り30頭はいます。やがて、人にも害を及ぼし始めるかも知れません。野犬は、人を見ま

す。つまり、男の大人ですと、遠くから吠えただけですが、小人、女性、妻人ですと、かなり近づくと、時にはおそいからうんばかりに、おどすようにうなって、キバをむき出すのです。

渡り鳥はかない誕生

野良犬が食い荒らす

千葉・幕張埋め立て地 苦勞の巣作り

朝日新聞 1983.6.17



渡り鳥のコロニーを荒らす野良犬の群れ(上)と変化して間もないコアジサシのヒナ(下) 川いずれ幕張埋め立て地

東京湾岸の千葉市幕張の埋め立て地に今春、渡り鳥のコアジサシ、コトドリなどが飛来、コロニー(営巣地)をつくらせて小さなヒナが誕生している。ところが、これに野良犬の群れが目をつけ、このまゝ連日のようにヒナを襲ってはエサにしていく。親鳥たちは上空で、切ない鳴き声を立てるばかり。無事に育てば九月には成長したヒナ、シベリアや東南アジアに帰っていくはずだが、果たしてこ

の砂を積んだところであって、鳥たちは絶好の営巣場所となった。

今年も四月中旬からやってきた鳥たちは、ひっきりなしに砂を運ぶタンパーの騒音にもかかわらず、巣をつくり、産卵した。長さ一キ、幅二百ほどの砂置き場に三百から五百の巣がつけられたとみられる。

ところが、ヒナがかえりはじめると、野良犬がやってくるようになり、夕方になると、ボス格の黒い犬を先頭に七、八頭の群れが巣を荒らしはじめた。親鳥は舞い上がり、犬の上を飛び回って鳴き叫ぶが、犬の方は一向に拒絶しない。横一列に並んで地面をかき回る。大人の親指ほどの大きさの生まれたてのヒナたちは逃げず、ひたすら地面にびったりくっついて難を避けるだけ。このころ、そんな光景が続いている。

海浜工事の作業員たちも、野良犬のはい回を不気味だとして追いかける状態ではない。

こんな状況に、埋め立て地の野鳥の営巣状態を五十一年から調査している同県習志野市谷津の森田三郎さん(58)は、「野良犬たちは、埋め立て地の草むらをおぼろげにしているようだ。生き残れるヒナは、二割程度ではなかろうか」と暗い表情で話していた。

市議選(習志野市)その後

ふかんど

号263

1983.6.23

谷津干潟愛護研究会
 〒275 習志野市谷津字七七 鶴荘E号
 電話〇四七四一五〇四四
 大責 森田三郎

会費 年2000

創立 1974.12.9

「谷津干潟の保存」を訴えたこと、影響を考察

去る四月の統一地方選挙において、谷津干潟に最も多く接する、秋津地区から立候補した伊波尚義氏が無事当選したことは、住民と他の議員、あるいは習志野市議会において、少なからず干潟にとって、良い影響を与えたようである。

伊波氏には、ちよっと申し訳ないが、氏の屋号でのごとく私(森田)は、あく意味で一つの「世論表示計」か、「リトマス試験紙」のようにとみていたのである。

氏の場合、支持政党も、団体や組織も向きも小々いって無かったので、かなり正直に結果が出ると考えていいわけである。

地元秋津では、「秋津のパイプ役」というスローガンも通用するが、一歩秋津を去れば、まが「関係がない」としか受けとめてくれないからである。だから、そして事実、殆んど谷津干潟だけで戦った。おまけに、森田の「あの車」と、「谷津干潟クリーン作戦」のノボリが二本、ぴったりとくっついて走りまわったのである。地元ではパイプ役、外では、干潟の伊波として。

カニをつかまえたぞー!

すぐ近くの、田地の子供です。よく干潟に来るとのこと。今、干潟は、見わたす限りに一面カニだらけ。皆んなドロだらけになっています。

伊波尚義氏の場合、無所属にして、党派というものには全く関係なかったため、森田とおおびりに前面に出て、応援出来たのである。又、当初予想していた如く、伊波氏の地元である、秋津・香澄地区は、他の候補になりずたぐくに崩されたのであった。

市民に、とくに他の市議、そして市長にとすでに周知ずみのこと・・・

これ、が大きい。これが、この先大々小なりモノを言うのである。ここで言いたかったのは、つまり、「コノひとこと」なのである。私産は、氏が、秋津・香澄のパイプ役として働くかたわら、その余力で谷津干潟のことをして頂ければ、とはやこれに越したことはないと思ってる。以上、簡単に記した。

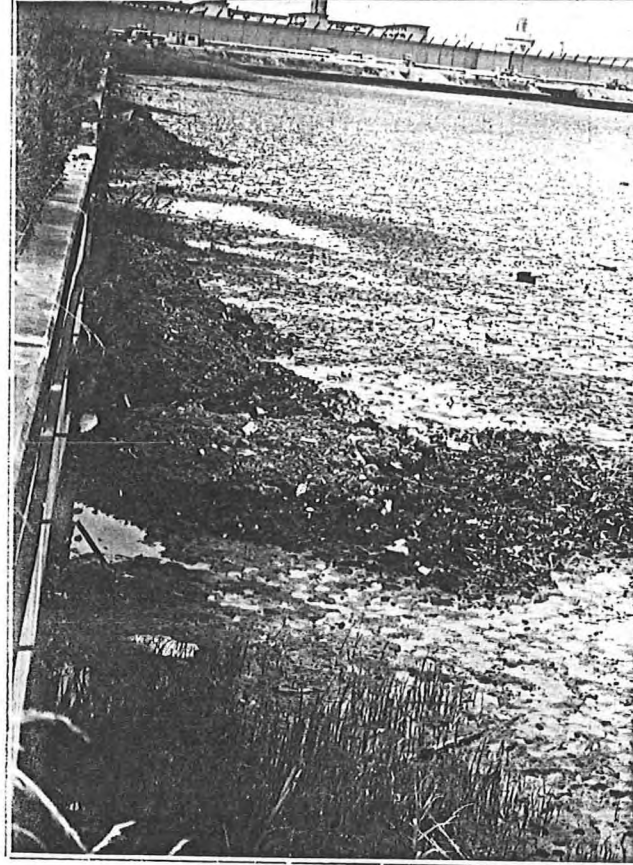


★ 谷津干潟愛護研究会は、「谷津干潟のGメン、でもあるんです。」

みなさん、田地のすぐ目の前でカニがとれるなんて、全国中、そういくつとありませんよー!

不法投棄された、工事用残土

ミズナギドリ の死



私達のそばで

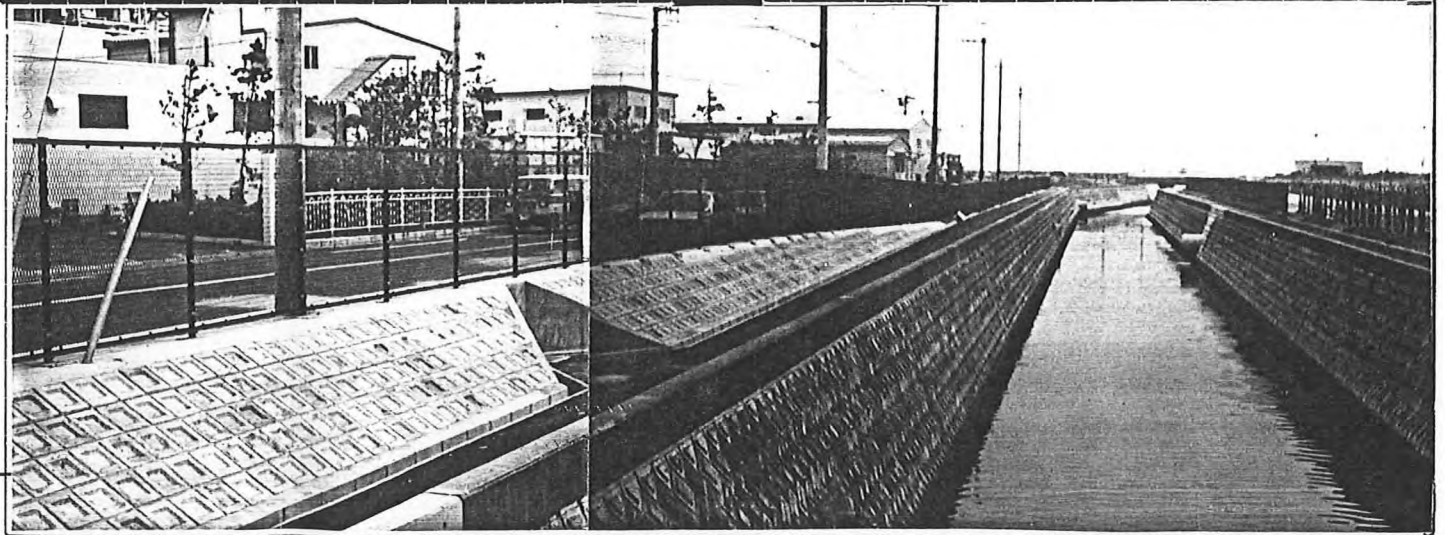
5月下旬、関東地方の太平洋岸で、とてとたくさん
のミズナギドリが死にまし
た。外洋性のこの鳥、海で
は体力の限界までとどぶこ

とが多い。だから、飛来した所
でエサがとれないと、かなりの
数で命を落とすのです。
習志野地先の辺りでと、百單
位で死体が見られました。折リ
しと赤潮。弱った鳥を、子供が
干潟の私まで届けに来した。

千葉県・企業庁と、大蔵省関東財務局、千葉財 務部と処理・対策を協議中

6月5日(月)、森田が干潟の周
り、企業庁と千葉財務部に
困をパトロー中に、初めて発見
しました。早速、管理当局であ
る、企業庁と千葉財務部に
庫絡、相談しました。他の
自然保護団体にも協力を求

めましたが、
何の応答もな
かったので、
愛護研究会の
みで解決して
いくことにな
りました。



環境整備(17)

このと、県企業庁を
現地案内し、ゴミが水
路に入らないうつにし
ました。

場所は、習志野市茜
浜の、臨海工場団地の
うらです。今まで、工
場から出たいろんなゴ
ミが、ここに集められ
たり、又燃やされたり
していました。

愛護研究会は、毎日干潟を見回っています。

干潟周辺の市民と、初の共同クリーン作戦を行います

ふかんど

第264号

1983.7.26

谷津干潟愛護研究会

〒75 習志野市谷津三十七 船荘E号
電話〇四七四一五〇四四

文責 木村 田三郎

会費年2000

創立 1974.12.9

7月31日(日) 午後 1:00 ~ 3:00

集合 フローネの小屋

谷津干潟に幸福を呼ぶ、「黄
色リハニカチの旗」が目印

主催

- ・ 谷津干潟愛護研究会
- ・ ライブ編集社

呼かけ地域は、習志野市の谷津、袖
ヶ浦、秋津、香澄地区です。

連絡

谷津干潟愛護研究会 0474・51・5044
ライブ編集社 0474・51・5882



7月3日(日)。秋津田地の子供たち。
小さな手で、そして、ほんの少し、ゴミ
を拾ってくれました。カニとりました。

ザ・谷津干潟クリーン作戦
より遠く、より深い所に挑戦。長塚氏と共に。



「毎日のように、干潟のまわりを散歩していま
すので---」と、高令にかかみぶずムロさん。



用意
長ぐつ、ゴム手袋か軍手、ビニール袋。
草刈りをするので、カマのある人は持って
来てください。
母親と子供が主体であり、参加の大部分な
ので、楽しく、にぎやかにやりたいもの。
当初、特別な人の、特別な行動だった谷津干
潟クリーン作戦。そんなが何の達成感となくなっ
ていきます。始めて十年、感無量に存じます。

干潟周辺の人とは、これから毎月一回、定例で行っていく予定です。

♡ 置き手紙です ♡

森田さんへ

お元気ですか。

今日久しぶりの晴れ間に子供と干潟へ散歩にきました。先月の夕べの日が雨で来られず、久しぶりの干潟です。土手のすぐ下カニの穴がたくさんあって、カニがたくさんとれました。子供も大よこがです。波うちぎわには魚のむれらしきものも見て、静かでのんびりした気持ちになりました。

こんなきれいな干潟も森田さんの努力のおかげです。

いつも子供と共に感謝しています。もうすぐ学校が夏休みになります。その時は、きっとたくさんの子供達がここでドロコにたてカニとりや魚とりであそぶでしょう。ほんとうに干潟を守ってよかったですね。

ありがとうございます。

またお火おけに掃除の手伝いにきます。よろしく!

宮川 柳子
7/13 11:00



夏のある日の干潟

鳥が少なからず、夏の干潟は死んでしまった。ええー!!? すごい人が多すぎた。

夏、そとはは、干潟がととと
とまも晴らしく、とととにぎや
かで生きくくしてしまふのだ

夏、文字通りべた一面、干潟はカニ、カニ、カニのカニだらけだ。魚、ゴカイだらけだ。あとで、全国でも、



この程のカニの壮観な大群と、一望に見渡せる所は、谷津干潟のほか、殆んどないだろう。



よく、野鳥の会の人やバードウォッチャーが、「夏の干潟は、鳥が少なからず淋しい。いーしなんて言う。じよ、じよ、じよ。うたんじやないよあつ、たくまあー。ゆがんでるうー。干潟に対して、失礼だよ」。

水路には、ミコタマ小魚がいて、そこへ、ウミンコ、サギが群をなす。

貝をとっています。アサリ、シオフキ、マテガイ、オオノガイが、たくさんとれたのです。

干潟の水辺に、カルガモのヒナ。毎年、親にはぐれたカモのヒナが見られるのです。

◎ ゴカイが、ブチブチを音を立てています。

忘れまい「習志野の海を」、君たちの足の下に眼りしものを……

ふかんど

第265号

1983.8.2

谷津干潟愛護研究会
 〒270 習志野市谷津三七 離荘E号
 電話〇四七四一51一五〇四四
 文責 森田三郎

会費年2000

創立
1974.12.9

習志野内では初めて

貝の標本を作ることに

取り組みました

市立秋津小学校の教師・生徒と共に

今が最後の機会です

二十年前頃までは、今の谷津干潟が「
 小かんど」と呼ばれていた頃です。習志
 野の海は、広くて豊かな、遠浅のうみで
 した。

「小かんど」にと、大きな海がメヤイ
 ルカ、トビウオが泳いでいました。魚の
 大群で、海が黒く見えだし、ちづかみで
 とたくさんと歩きました。ぶっかん堤防の
 下の、水にくっつけておようにしてのぞき
 見ると、無数のエビがびっくりして逃げ
 まわり、ぼく達の顔にバチバチと当たって、
 「イテテッテッ」と言っていましたの
 でした。

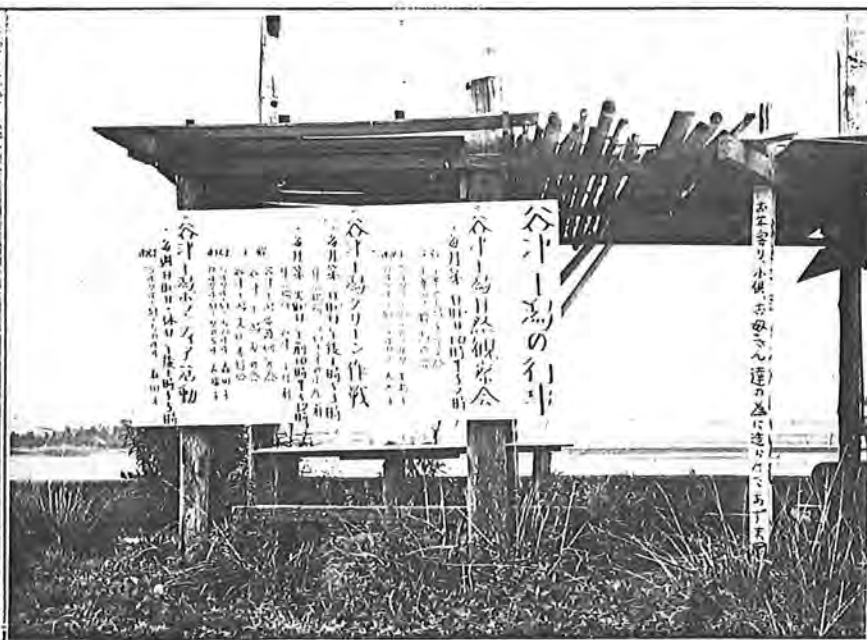
又、野原や麦畑、菜の花畑、湧き水が
 あちこちにあって、そんはくく、冷い
 水がこんくと湧き出していました。

丸木橋の小川の中には、タニシがガン
 ゴロウ、オタマジャクがうじゃ／＼し
 て、いたる所が「メガカの学校」でした。
 しかしその後、昭和二十年後半から埋
 め立てが進み、遠浅の海は全くなくなっ

てしまいました。ただ、かろうじて生きのび
 た「小かんど」が、今は谷津干潟という名前
 になって残っているだけ。それだけでなく、
 建設工事が進み、貝がらを捨てる所さえ、殆ん
 どなくなってきたのです。



夏の干潟の子供たち。今、干潟は、どこもか
 しこも、魚とカニだらけ。はさまれて泣く子ど。



装い新たになった、谷津干潟の案内板。干潟
 のまわりに6本。通る人に呼びかけています。

貝がらの集められた所へは、森田が案内します。

貝の採集は、8月20日(土) 秋津小学校の「サバイバルクラブ」といっしょに行きます。

メダカの池のメダカたち、赤ん坊がいっぱい産んでいます



サギのまわりは さかなの大群

わたしの 谷津十鳥

森田 三郎 (谷津)

この新聞がみんなに読まれるころ、干潟も、そしてベンチの草むらも、ほんとうに夏らしくなる。

ぼくは、小さい時から夏が大好きだった。夜になって、ふとんの中に入ると、やがて来る夏の日々を想像

し、セミやバッタ、魚や草はら、広い遠浅の海のことを思い浮べると、心も体もドンドン鳴っているタイコみたくなっていました。

もうじき、夏休み。カンカン照りの谷津干潟では、まっ白い体と、長いくちばし、長いあしのサギ達。コサギ、ダイサギ、チュウサギがみんなここに集って来て、さかなを食べたり、ゆっくり休んでいます。

パンの耳を投げています

投げてやると、ヤッそくよってたかって食べに来ます。池全体が、ちようど、雨が降っている時のように、無数の、小さな波紋が見られます。

池のまわりの浅い所は、ほんとにちっちゃなメダカが群がって泳いでいるのです。

岸辺の湿った土には、地虫、ヤハンミョウが産まわって、そして又、パンの耳を流水着くので、スズメ、カラス、セキレイ、チドリ、ヒバリ、セツカ、オオヨシキリなどが食べに来ています。

夜には、コウモリが水を飲みに来る。水面すすす外に来てはくちばしで、フーっと、水をすくっています。

コアジサシのひな

中村憲昭

(秋津小学校11才)

ライブ 8号 6/25



野鳥のひなを見に行きました。見ただけでは、ただの空き地としかいいようがないうめ立地、かわいたさらさらとした砂がたくさんありました。こんな所に鳥はいるのかなと思いましたが、少し行くと森田さんが「あつた。これはコアジサシだ」と言いました。

「むらさきっぽい点はありますか?」と聞いてみると、コアジサシだと思いましたが、また森田さんが、「これから足もとに気をつけて。」

「あつた。これはコアジサシだ」と言いました。足もとをみて歩いていたら自分でも鳥のすを見つけた。すは少し砂をほってあつて、貝がらがついてあつりました。そしてたまごが三つ入っていました。

ぼくがふしぎだと思ったのは、必ずすにはたまごが三つ入っていることです。ぼくが見た時、三つより少なかったことも、多かったこともありませんでした。みんなあつまっているのを見てみたら、三つひながいました。はらばいになっていて、くちゆんとなつたです。でも急に「あつた。」

森田さんがいったので、ドキッとして見たら、ぼくが卵をふんづけていました。

「あつた。」

口からため息がでました。もつと足もとを見ればよかつたなと思えました。でもかわいそう、心のなかであやまりました。歩いていくと、オートバイにひかれたひなもいました。せつ

かかれています。森田さんが草の中へ手を入れました。それならひなが出てきました。おしりをさす急いで走り出しました。しゃしんをとろうと思つたので、追いつけません。首をのびして、むねをはつたのでかわいかったです。歩いて行くとき、ひなはさ

ました。こんども草のかけにかかれていました。目をこつちへむけてじつと見ました。そのクリツとした目がとてもかわいらしかったです。でも、もう帰ることにしました。

そして車に乗りました。今日のおみやげは、しゃしんとカニとみやげ話です。帰ってからひなのことが頭の中にうかんで、よくねむれませんでした。また、いきたいと思

夏休みの宿題は、干潟の渡り鳥
五人の女子中学校生が、毎日、炎天下に
めがずこうして観察・調査しています。
一日中、交代でチームを作っていました。
毎日、顔や腕が黒くなっています。



以前でしたら、こうした後には紙くずなど、
ゴミを出していく事が多かった。今はない。

生徒たちが、こうして干潟をテーマにしてくれて、大変うれしい。

炎天下、とにかくにも 第一回市民クリーン作戦

ふがんじ

№266号

1983.8.6

谷津干潟愛護研究会
 〒275 習志野市谷津三七七 船荘E号
 電話〇四七四一五〇四四
 文責 森田三郎

会費年2000

創立
1974.12.9

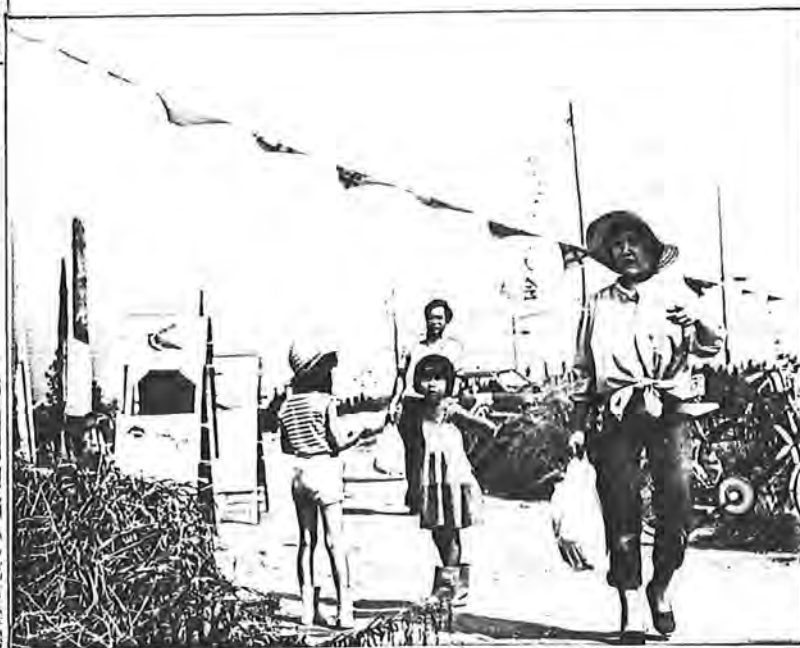
汗だくで、慣れない手つきで

7月31日(日)。午後1時〜3時まで行われ
 ました。参加者は、23名。内訳は、男
 7名、あとは主婦と子供でした。

愛護研究会からは、五十嵐、長塚、森
 田の3人。が、私産は「百戦錬磨」の、
 ゴミ拾いの名人。

これは意外という方が、反省しなけれ
 ばいけないと思ったのだが、ひと口に、
 クリーン作戦あるいは干潟の清掃と言っ
 ても、初めてやる人には、どこで、何を
 どうしていいのかかわからないうらしい、と
 いうことだった。私産には何気ないこと
 ではあっても、どうやって手を付けよう
 かと迷っていた。考えてみれば、それが
 当然かと思われない。こんな具合に、この
 クリーン作戦、いよよく出発しました。

暑さに顔をほてらせ、皆さん大変体に
 こたえたようでした。決して無理をしないで。



これから、ライオン編集社と愛護研究会共催で、毎月行って参ります

多目的なるかな、谷津干潟自然緑地は... 干潟・埋め立て地を撮り続けています

(ライブ・7月号 25)
こけから、シリーズで、いろんな人が登場してきます。



野鳥写真家 五十嵐 吉夫

東京から近くて、シギ、チドリ類が四季を通じて見られる所というと、今では谷津干潟しかありません。埋め立て地や干潟の鳥の写真を撮りに通いだしてから八年になります。埋め立て地では、道路や建物の工事が急ピッチで行なわれている現在、鳥達が巣を作る場所もなくなってしまいました。五年の夏に、セイタカシギを見守っていた森田さんと知り合い、谷津干潟でゴミを拾い、ベンチの修理をしているというので、そ

わたしの谷津干潟

けつきよく、まよあ、町ん中
いやあ、無理なんだよなあ

たとえば、こんな具合、その例をあげてみましょう。

応援歌の練習、浪曲、小唄、トラン

ペット、笛、戦争ごっこ、葡萄前進

演説の練習、気合、大鼓たたき、土人

ごっこ、昆虫採集、植物採集、バーベ

キュー、テントの野宿、散歩、月見、

理想、恋人同士の愛の語り、合唱練

習、花つみ、空子や合気道、句集を考

えごこと、ピクニック、花火、肝試し

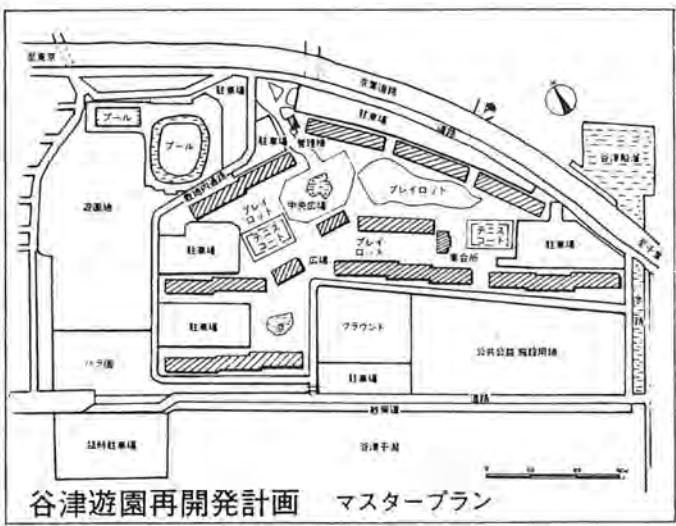
、ジョギング、夕涼み、タコあげ、外

交・営業事務関係者の休み場、バレー

ボール、園児、生徒の遠足、泥・砂・水遊び...

その面倒見と、それは大変です。

谷津遊園跡地利用
マスタープランを公表



谷津遊園再開発計画 マスタープラン

谷津遊園跡地問題は去る 6月21日、三上市長が記者会見で民間二社の開発案を受け入れる方針を明らかに

- (1)谷津干潟に突出した「臨時駐車場その他用地」が開発区域面積からはずされていくが、その帰属はどうなっているか。またこの部分が駐車場にするのと干潟に油が流れる恐れがあり、鳥獣保護にどう問題ではないか。
- (2)散策道でも遊園地面積に含まれており、公共緑地が皆無である。
- (3)計画戸数「三九八戸」は中学校用地を確保しないので済むぎりぎりの開発であるが、近隣中学校の受入難を理由とした乱開発が懸念されている。
- (4)公共用地に小学校を建てても谷津三丁目全体の小学生を収容できるかどうか疑問である。
- (5)15階建が何棟か建つようであるが、そんなに広くない地域にそれらがそびえ立つ風景は異様で、圧迫感さえ想像される。その他、最も大きな問題として、将来遊園地の経営難を理由とした乱開発が懸念されている。

土地面積 223,687㎡ (67,665.32坪)
開発区域面積214,417㎡ (1)遊園地面積72,050㎡ (バラ園23,000㎡ 遊園地42,800㎡ 散策道6,250㎡) (2)住宅用地面積105,864㎡ (3)公共用地25,650㎡ (4)提供道路10,853㎡
臨時駐車場その他用地
●規模 11棟(6階建~15階建) ●戸数 2,398戸
●計画人口 8,393人(3.5人/戸) 391人/ha

谷津干潟展のお知らせ

電電公社・津田沼サービスセンター

国電津田沼駅北口 徒歩一分
八月十日より 八月二十一日まで

谷津干潟・埋め立て地の生物や環境記録写真

いろんなボランティア活動。約三十五点展示。

営業AM10.00~PM7.00 定休日 毎週水曜日。

今日の問題

横濱に住む詩人の羽生博子さんが、故郷の浜辺をどうしたか。夏の夜は浜へ涼みにいく。砂浜にすわって話す。ねごとで話す。黙っているときもある。暗い海を見る。いさの火を見る。不思議なことに、浜辺が破壊されそうになると、どこでも身を捨ててそれを守ろうとする人が現れる。ある人は退職金を投げ出し、ある人はハンカーストライキをした。教師、医者、作家、僧、民宿の主人と、職業はまちまちだし考え方もさまざまである。共通しているのは、そうした人たちの心の養成、企業のみ流出防止等々、行

夏の谷津干潟には、潮といっしょにさあ、どのすごい魚の大群がやって来るんです

ふかんど...かつて、広し遠浅のうみがあった頃の、昔の谷津干潟の呼び名です。

ふかんど

号267号

1983.8.10

谷津干潟愛護研究会
 〒25 習志野市谷津三十七 船莊E号
 電話〇四七四一五〇四四
 文責 森田三郎

会費 年2000

創立 1974.12.9

炎天下

水面に映り子供たち
 ういやくくとんたし
 はしやりでらあ

直立不動、気をつけの、そんなかっこうで、私に、こう言った少年がいた。「森田さん、ぼくも、森田の弟子にしてください」と。」「フッーん、フッーん、さうかあ」と私は言った。

この少年、秋津団地の、小学校五年生、中村憲昭君。

魚だらけ、カニだらけ。それが今の谷津干潟である。そのありさまである。満ち潮どきのチャンピオンが魚なら、それに対して、引き潮どきのチャンピオンは



四ヶ手アミでハゼ・イワシをとる中村君とその仲間。親と森田、子供たちの見ていた前でいっしょうけんめりに。二〜三分、水の中に入れておき、上げると五十匹程のハゼがとれました。

カニ、そしてヤドカイ・ウミニナである。潮が、干潟に入ってくる時に、魚たちといっしょにやってくる。泳ぐ魚はとちろん見えるし、ハゼのように水底をはいつくばって、かたまりとなつてずん／＼入ってくるのどわかる。アカエイなどと、ある程度水がたまった頃に次々とくる。大きいのは一メートルとあるだろう。

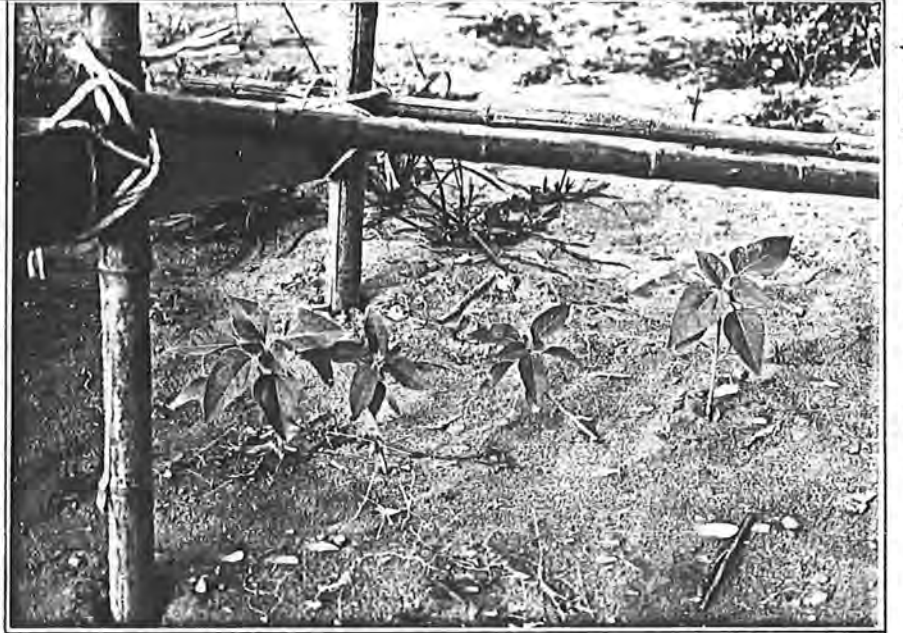
干潮になって、地面が露ると、今度はカニとヤドカリ、ウミニナの天国だ。ほんとうに、干潟一面は、カニだらけの大群になってしまふのだ。甲子干としてるやつに、いっしょうけんめいに体掻きしてはるやつに、文字通り埋め尽くさへしてしまうのだ。

会員の、長塚進吉氏の言葉を借りれば、「谷津干潟ってえのは、いわば、団地や町ん中にさあ、海が、出前」してくれん所だからなあ、全国的にも例のない、非常に特徴のある干潟なんだよなあ」と。出前とは、奥にうま／＼と言ったとんだ。

私たちは、子供たちに、魚やカニのとり方を教えてやっている。子供時代の経験と生かして、二言三言で、けっ／＼こううま／＼なつていく。どだい、学校で行ってはいけないと禁止されていても、それ楽しんで来さく／＼だから、そのケのある子供なのだろう。子供たちに、砂や泥あそば、水あそばをさせる為に、カニや魚、虫をとりて運んでくる親が増えていって谷津干潟周辺である。

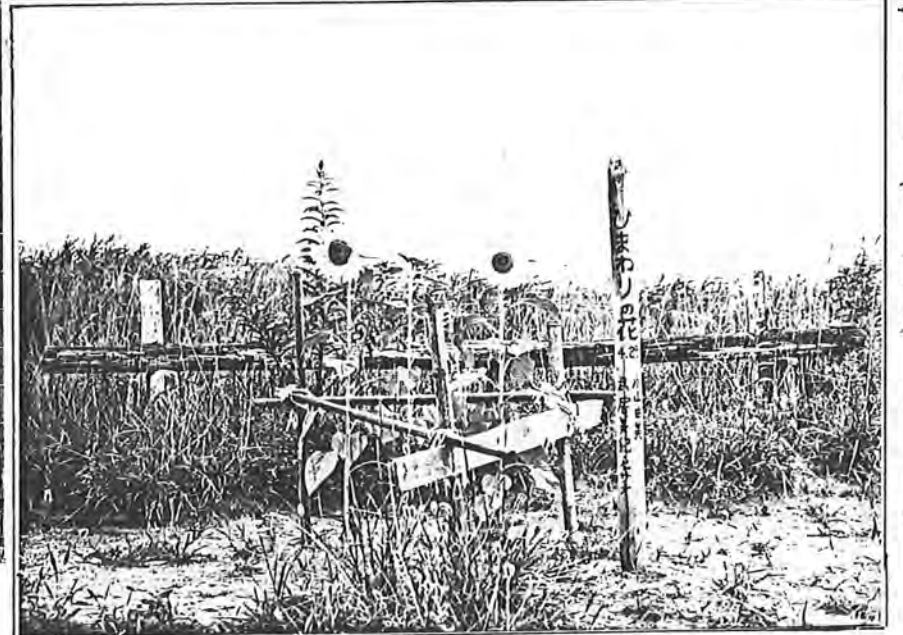
以前、こは、ガラス石を、ゴミだらけで危険だった。子供の足を守る為に、皆んなで清掃した。

← 踏まわることか心配でした



夏枯木の、
かわいた砂地に
中学生の、小川由美
ちゃんと武居美紀ちゃ
んが植えたんです。
初め、小さな芽でし
た。大雨と日照り、強
風とあって心配しまし
た。で、やっと無事に
咲きました。よかつたよかつた。

← どうです、立派に咲いたでしょう



暑さよけの為に

フローネの小屋の屋根作り

恒例の、谷津干潟の名物、竹と流木とヨシからなる土人小屋、もう、フローネの小屋の屋根を作ります。

期日は、八月十四日(回)〜二十一日(回)までの間です。骨組はすでに、竹と流木で出来上っております。あとは、ヨシをカマで刈

ってきて、束めて、上の骨組にのせて結えま

す。完成して、風にこすれ合うヨシの葉の音や鳥の声を聞きながら、日陰の中で寝ころがって、どのすごく涼しくて大満足。

毎年、暑さで倒れたり気持ちの悪くなる人が出ています。又、皆さんが休める為にと、とって助かっています。汗だくの作業ですが、やり甲斐のある事、ご協力をお願いいたします。

土人小屋、子供達の大好物



や82回

谷津干潟クリーン作戦

今度、干潟で拾ったゴミは、近くの住民と相談の末、所定の所におくことに決めました。そして、住民の人にゴミを捨てないことは勿論、注意や監視もしてくるとのことです。



私達が清掃し、作った所に、水草が育ち、カニがすみ、魚が泳ぐ。……いい気持ち。

夏だ、メダカだ、ザリガニだ、泥んこ遊びの子どもたち



ふかんど

号268号

1983.8.15

谷津干潟愛護研究会
 〒275 習志野市谷津三十七番地E号
 電話〇四七四一五一一五〇四四
 文責 森田三郎

会費年2000

創立
1974.12.9

池にいる
生物

メダカ、
 カリガニ、
 カエル、ケ
 ンゴロウ、
 ミズスマシ、
 チゴガニ、コメシキガニ、
 キンギョ、ヤゴなど。

それはどうと、ところで、作ることはカリガ、水を溜め
 ことばかりが能じゃありません。実は、この池、一定の水
 位、最も深い所が50cm程になると、水が、雨水が流れて
 ように作ってあります。向して、手掘りです。約
 半年間かかって作りました。

はじめ、「入ってはいけない、メダカやヤゴをとっては
 いけない」と、片端っから注意したり、子供達をどなって

きました。でも、もうあきら
 めました。ホトく、夏休み
 た。それで、雨や晴天続きの
 具合を見ながら、毎日の如く
 、除々に決めていきました。

今年の5月に放ったメダカ
 が子供を度み、無数の小さな
 メダカが泳ぎまわっています。
 又、この池から、各種のトン
 木が空へと飛んでいきます。





「あらっ、これ、キバナコスモスよお」と、
会員の中村さんが教えてくれたのでした。

ドウガネファイアかな、それとも、カ
ナブンかな？。暑さと風、人目をさける
ようにして、そっと葉かげに休んでいた。



バンブーハウス

涼しそう。

バスケットやハンカチ
の包みの中に、お菓子・
チョコレート・ジュース
を持って来ていました。
ノートとペン、そして本
とありました。外は猛暑
でど、小屋の中は風が吹
き抜け、天国なのです。

雨あがりの水溜まり

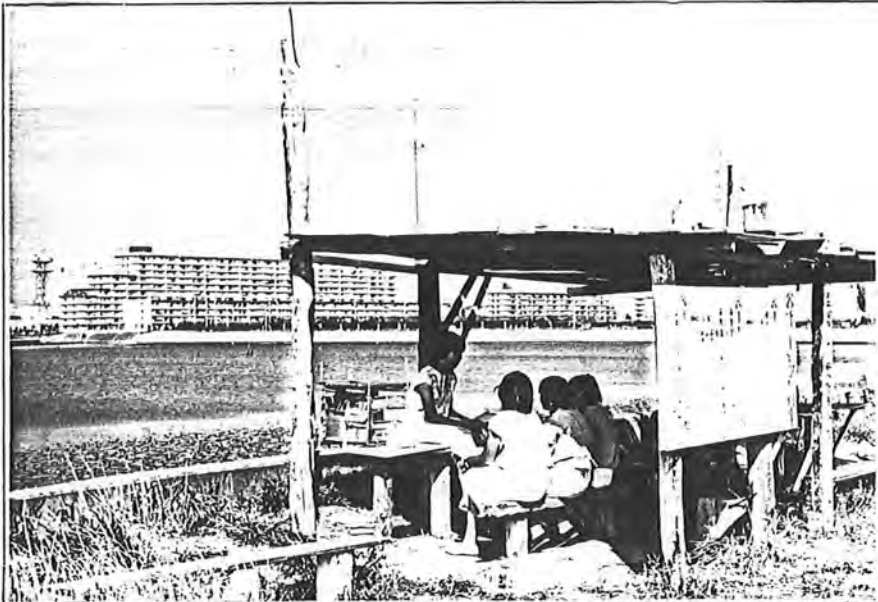
夕立ちのあとでした。

ひろい水溜まりが出来ま
した。大人にとっては、邪魔
な、何でもないのかと知れ
ません。でど、子供にとっ
ては、楽しい、大好きな所な
んです。
まわりが草地なので、すぐ
にアメンボウが来るんです。

ヒマワリのお礼に

ヒマワリの種を、自然緑地
に植えてくれた、小山由美ち
やんと武居美紀ちゃんです。
ある日、二人を、コアジサシ
のコロニーに連れて行ってや
りました。

新南で、私の調査のことを
知って、一度は行ってみたか
ったのでした。



赤潮や青潮が出ると、谷津干潟に魚が逃げ込んで来るんです

ふがんど

№269号

1983.8.20

谷津干潟愛護研究会
〒275 習志野市谷津三十七 鶴荘E号
電話〇四七四一五〇四四
文責 木林 田三郎

会費 年2000

創 立
1974.12.9

魚たちの「駆け込み寺」

それは、毎年のごとなんです。いつと、毎回、決っておこっていることなんです。ともしと時期よく、「運よく」その場に居あわせたなら、それを、その有様を目の当たりに見ることができるとしよう。

水路から干潟に流れ込んで来る潮といっしょに、次から次からと、おびただしい魚たちが、苦しがついて泳いで入って来るのです。水面に口を出してパク／＼させたり、水の中でく／＼と泳ぎまわったり、体を真っすぐに立て、口を上にもけたまんまだったり、カキヤフジツボがつりしている所で、みんな集って来てはかたまつて、水面スレ／＼にしてじっとしているのです。



投網。親子でしてりました。一見鏡のような静かな水面ですが、満ち潮なので、水中は魚の群。

浅瀬へ浅瀬へと

どこでもいりんです、そこが浅瀬になってさえないわば。

別に、谷津干潟でなくとも、埋め立て地の所々にある潮流などの為に、砂がたまつて出来た小さな干潟や砂浜みたいな所があれば、そういう所にはたくさん集って来てしまつんです。浅瀬がある所は、大体山み状の所が多い。

だから、力尽きた魚の死体が最も多く見られるのと、山み状の浅瀬の所なのです。赤潮や青潮は、干潟や浅瀬では起りにくいし、又発生しにくいし、くい止められつまつのです。森田は、昭和41年頃から渡り鳥の繁殖調査をしながら、広埋め立て地の水ぎわで、海の中に入って何度も体験してきました。ウミネコやコアジサシなど、魚をエサとする鳥たちとそれを知っていて、何事かと思つてしまふような大群とそのやかましい声を叫び立てながら、水面に浮かぶ魚をとっている光景と度々見てきました。

私達の観察では、赤潮、とくに青潮の時に最も魚の数が多くなると思う。小だん、目にするこのなり魚がたくさん見えるのです。水ぎわという水ぎわに、ビッシリと、水が黒く見える程、ハセが群がります。

これから、青潮のよく出る季節、今年とど小位の数の魚が逃げ込んで来るんだらう。

谷津干潟でと毎年、力尽きたたくさん魚が白り腹を出して、打ち寄せられまふ。

赤潮は、プランクトンの異常発生。青潮は、空気の涼気により、上層と下層の水が逆転して、酸素の少ない水が上に来る。

看板の書き直しをしています

メダカの池のそばでバーベキュー



大汗をかいて作った所で。まさかこうなるとは。



ウーマンカーペンター

谷津干潟のまわりには、愛護研究所所有の看板が、およそ50本あります。看板の数では、

およそ日本一でしょう。

その他、テーブルとベンチが約150。小屋がる。標識が約30。その他まだく。

今、他の団体をも含めた、谷津干潟の案内板、そしてクス入木を中心に、ペンキ塗りをしていきます。

干潟の近くに住む、中村容子さんとその子供がせっせとがんばっています。とって字がうまくて、その書きえを感じてしまっています。「わたしは、ペンキ塗りにってね、だあいすきい。」「しとの言葉を頂き、会員一同よろしくお願ひしました。こみから、毎日いろんな人が、中村さんの字を読んで通すのです。」

↑ 谷津干潟の調査をしている津田沼高校生物部

天声人語

東京・大井ふ頭の埋め立て地に二十六羽の野鳥の聖域が誕生する。「東京に自然を」という住民の声を大幅にとり入れたもので、鈴木都政の適切な決断だった。決断の背景には、白木幸子さん(作家加藤幸子さん)を中心とする市民団体の八年間の努力がある。殺風景な大井ふ頭一帯を歩いて、大井野鳥公園といわれる一角まで来ると、安らいだ気分になる。子だくさんのカルガマが泳いでいる。カイツブリが潜水の術をみせてくれる。ウミネコが飛び、オオヨシキリが鳴く。ギンヤンマもいる。ザリガニもある。ここは、総合卸売市場を作るため十三年前に埋め立てられた場所だ。市場移転計画が挫折し、放置されているうちに雨水で池が生まれ、アシが生えた。いつのまにか二百種以上の野鳥がすみよらになり、都心の、数少ない「鳥の名所」になった。この鳥の聖域を守り抜くか。鳥を追い払って卸売市場をつくるか。都と市民運動の代表は話し合いを続け、次第に歩み寄った。最終的には、全体の四割近くを野鳥に提供する共存共栄案がまとまった。これで東京湾の自然の面影を後世に残すことができる。白木さんたちの運動は一つの実験だった。いまだき大都會の中に新たに大規模な自然公園を誕生させるなんて夢のような話なのだが、この困難な実験が都の譲歩で成功した。各都市の市民運動を勇気づけるに足る成果である。もう一つ、特筆しておきたいのは、これからの本格的な公園づくりの過程で、都は市民集団と密にまかな話し合いを続けると約束したのだ。住民参加方式の公園の誕生である。そのかわり、住民はボランティアとして公園の環境整備に力をつくる。今までも市民団体の若者や子どもたちは、夏は草むしりをし、冬は木々の根元に水を敷いたりして、無償の活動を続けてきた。主張することは責任をもつことだ、という教えを若い世代はきりげなく実践している。

二つの谷津干潟クリーン作戦 9月4日(日)



・谷津干潟市民クリーン作戦

主催 谷津干潟愛護研究会
月刊・ライフ

協力 ひまわり(秋津子供会)
袖ヶ浦ドラゴンズ(野球チーム)
赤トンボ(秋津子供会)

若潮(秋津子供会)

・谷津干潟共同クリーン作戦

主催 日本野鳥の会本部事務局
" " 千葉県支部
谷津干潟愛護研究会

協力 日本野鳥の会栃木県支部
" " 東京都支部

尚、「谷津干潟市民クリーン作戦」は、これから毎月行います。月の最後の日曜日、あるいは、次の月の最初の日曜日です。今まで、谷津地区の住民が多か

たのですが、現在は、秋津、香澄、袖ヶ浦、そして、津田沼地区へと広がっております。参加者には、厚くお礼申し上げます。

バンブーハウス(この家)の中の、干潟近くの市民の皆さん。

次回の市民クリーン作戦 10月2日

ふかんど

第270号

1983. 9. 4

谷津干潟愛護研究会
〒270 習志野市谷津三十七 鷗荘E号
電話〇四七四一五〇四四
文責 本林 田三郎

会費 年2000
創立 1974. 12. 9

ふかんど... 真夏の太陽と白り雪の下、オナチンチンとせまらけ出していった頃の昔の谷津干潟の名前

こちら、フローネの小屋に集っている野鳥の会の人たち。愛護研究会が市民と共に作った小屋、中は涼しいよあ。

この日、記録的な猛暑。大人はぐったりしてしまいましたが、子供はけっこう元気なもので、食欲おうせいな子やペンキ塗りする子供とわらわら。



◎ 広田さん、南へ帰りゆくコアジサシに代って、厚くお礼申し上げます。ありがたうノ

広田さんは、東京の練馬区から、千葉市幕張の埋め立て地まで、コアジサシたちのことが心配で、自分のバイクに乗って通い続けました。勿論、全て自費であり、自分の意志に基づくもの。ヒョウ、雨や風の日、野宿をしました。こういふ人を、私産も野鳥を忘れません。

広田之彦さん（練馬区）

コアジサシ・シロチドリ・チドリの卵とヒナを温かく見守っていただきました

つだぬま

1983.7
VOL.2

— 1周年記念号 —



習志野電報電話局
電津田沼サービスステーション

表紙解説

習志野市の谷津干潟は全国でも最大規模の渡り鳥の飛来地で、その広さは約45万平方メートル（後樂園球場の約8倍）あります。

ここにはカニ、ゴカイ、小魚などが多く、これらの豊富なエサを求めて多くさんの鳥が群れています。その種類はコアジサシ、シロチドリなど200種類、数は10,000羽といわれ、野鳥観察の絶好の場所です。汚染により昭和50年頃には全滅したといわれたアサリやヤドカリなども、干潟を守る市民団体の努力でだんだん多くなり、今では市民のいこいの場となっています。

先日、電々公社の方が来て、「習志野市の象徴、谷津干潟になりましたので何か写真が」と、うんいすね。

（写真提供 森田）

小鳥たちの安息の場に

9/5朝日

野鳥の楽園として知られる習志野市谷津干潟で4日、ゴミや流木などを拾い集める清掃作業が行われた。日本野鳥の会東支部（高橋敏雄支部長）と谷津干潟愛護研究会（森田三郎会長）の主催で、今回で四回目。主催者のほか、日本野鳥の会栃木県、東京都両支部の会員や近所の秋津団地の主婦、子どもなど約百三十人が参加した。参加者たちは「野鳥が安心して来る干潟にしよう」と、盛夏を思わせる猛暑のなか、クリーン作戦に汗を流した。

谷津干潟



クリーン作戦を展開

野鳥の会員ら 大量のゴミ集める
130人が参加

谷津干潟は東京湾の奥部に残された最後の干潟で、渡り鳥の世界的な飛来地となっている。しかし、周囲から捨てられる生

活廃棄物や海からの流木、ゴミがかなりのあり、ほうって捨てるとどんどん汚れてしまふのが現状だ。そこで、野鳥の会会員たちは「鳥を見て楽しむだけでなく、鳥が集まる所をきれいにしていくことも必要だ」として、昨年からの一回の大規模な清掃作業を始めた。

今回の作業は数グループに分かれて行われた。女性や子どもは主に周辺のゴミ拾いにあたり、男性は干潟内に入って、泥だらけになりながら流木などを拾い集めた。

この日の干潟地方の最高気温は三二・二度。九月としては干潟測候所観測史上四番目という暑さで、参加者は作業開始直後にはもう汗びっしょりだった。

約二時間の大清掃で、古自転車数台を含む、トラック二、三台分のゴミを集めた。このあと、干潟内でのんびりえさをついばむシキヤチドリ類を心ゆくまで観察した。

釣り人いっぱい、ゴミいっぱい

毎日せっせとやっております。えっ、何きかっつ。ゴミ拾いですよ。すごい量ですよ。

風の日は雨の日も、昼もよってまっ暗になつてしまつています。

クリーン作戦、公けには月一回。洋公けには日曜・休日ごとに。んでえ、奥さんには、ほんとは毎日やらせてもらってます。

干潟は今、魚、とくにハセとボラとセイゴがッゴチャマンッとして、釣りの最盛期。休日には、四百人位ならびます。一日では袋程と出ます。ー、ーとして今日とまた。

「谷津干潟友の会」の会員募集を始めました。

ふかんど

号271

1983.9.10

谷津干潟愛護研究会
〒275 習志野市谷津三十七 駐在E号
電話〇四七四一五〇四四
文責 森田三郎

会費年2000

創立
1974.12.9

小かんど・・・母が「これがあたしの産んだ子かしら」と嘆息程、陽焼けし汚れていった頃の谷津干潟の名

友の会

落ち穂拾りの如きあれ
倦まず弛まず干潟をば

見せて語知して知らしめて
失望、落胆相次ぐも

遠く他日芽を小さくし

信じて念ぜし「約」は

五臓六腑に染みわたらん

さやけき^{あかり}灯のありたんば

山脈重畳跋涉せん



現実には5年ほど前より、そして、公け

には3年前より、「谷津干潟友の会」

という名前のととに、毎日のように、

とくに日曜、休日のたびに、行き交う

市民に干潟の観察・説明・案内をして

きました。

今や、谷津干潟という名は遠く広く

知られるようになりました。干潟周辺

地域においては、殆どどの市民が知る

ところとなりました。

今後と更に、谷津干潟への理解と支

持を深めて頂く為に、谷津干潟友の会

の会員を募集することになりました。

「谷津干潟の為ならば」と、そう思う

方なら、ごなただでと大歓迎です。どん

なこと、どんな方法でも大変うんし。これ
といって何も出来なくとも、一人でも多くの
人が会員になって頂ければ、力は増します。

会費 一年500円

代表 森田三郎

連絡先は左記の通りです

・ 森田三郎 0474・51・5044

〒275 習志野市谷津3-7-7オトリ荘E号

(勤務先 0474・35・0221)

・ 長塚進吉 0474・51・7054

〒275 習志野市秋津3-2-16-2

・ 月刊・ライブ 0474・51・5882

〒275 習志野市秋津1-3-7-103

(ライブ10号)

わたしの 谷津干潟

俳人
土田 眞望



谷津干潟は、わたしの、この十
年来的散歩道。その周辺を歩きな
がら、わたしは、句作に精進して
いる。が、仲々、真実を表現する
ことはむずかしい。

干潟の東岸にある立札の詩を、
初めて、読んだとき、心に迫る真
実の感動に、身を震わせた。

(我担わん)

負いし来りし「ふかんど」の

痛みと重荷を想いなば

彼我も境も無かるべし

舟舳も干潟臭しと逃げ惑ふ
ゴミ拾ふ干潟の蟹に勵まされ
青葙のはや枯れ初めし病む干潟
腐木負ひ日焼の聖者湯に立つ
潮入りて蟹等陸つめり夏の月
並木なき干潟に遠く合歡の花

谷津干潟クレーン作戦の心、と
題する十一行の詩である。クレー
ン作戦の森田さんに、「ふかんど」
の意味を聞いたら、それは干潟の
言葉で、「深い所を言うぞうだ。
十年以上、重傷の干潟を、公害
から護るべく、善意の人々が、投
げ捨てられた空かんや、腐木を拾
い上げているのだ。
去る七月三十一日、炎天の下、
クレーン作戦の方々には、戦士のご
とく干潟のゴミを、汗だらけ、泥
だらけになって黙々と、拾い集め
ていた。

この貴重な谷津干潟の清浄化を
支えている方々に、わたしは、蟹
や、シギや、ちどり、カモメ等と
共に心から声援を送ってやまない。

・・・“聖者”、森田とそう呼ばれるようになったか。
でと、する事を人間と昔のまんま。ぼくう、どうしよう？

地域活動で支えよう、谷津干潟。●きれいにしたいか、なら、まずとて自ら汚れよ。

● うみ-干潟は本来、防衛機能・浄化機能を持ちしものにして、“健闘本位”に働くものなり。

谷津干潟をかわいがって下ろす

谷津干潟愛護研究会
森田 三郎

干潟とのふれあい



ただけでも素晴らしいこと
です。
子供達への贈りもの

大切にしたい。何とかし
て守ってあげたい。どうに
かして残したい。それが私
たちの願いです。そう思っ
て、私たちはいろんなこと
をして来ました。

皆さんが干潟に行くと、
皆さんのベンチとテープ
ルがありますね。あれはみ
んな、干潟から引き上げた
流木で作られています。干
潟の清掃をしながら、一つ
一つ作ったものです。

一時、県が強制的に撤去
しようとして、真正面から
対立したこともあります。

でも、地元市民や主婦の温
い応援のおかげで、ようや
く助かりました。

「ひとりでも多くの人に
干潟に来てもらいたい。利
用してもらいたい……」
と強く念じ、希望と願いを
込めて私達は作りました。

習志野市のシンボル
谷津干潟……。その名

は今や、日本だけでなく、
世界的にも知られるように
なってきました。

ほんとうです。皆さん、
どうか自信を持って下さい。

私達習志野市民が、全国
に、そして世界に誇り得る、
名実ともに、シギ、チドリ
を中心とした渡り鳥の渡来
地なのです。また、遠く遠
くの、シベリアやカナダか
ら、南の、オーストラリア
やニューギニアから飛んで
来る、幾千の彼らの休息地
であり、エサ場でもあるの
です。

私達市民が、毎日の生活
に明け暮れして、まっ
たく知らない時にも、この
習志野市の、谷津干潟を目
指して、多くの犠牲を払い
ながら、必死に、力いっぱい
い、飛んで来る生きものが
いるなんて。自分達のそば
で、一年中、毎日そんな出
来事が、「ドラマ」が起っ
ていること。それは想像し
ようか。

それは、経済的に価値が
あったものでしょうか。

ひときわ目立って、形に
表わせ、計算され、理屈通
りの、声高に叫ぶようなも
のだったでしょうか？

ちがいますよね。それは、
ひっそりとした、ありふれ
た、なんでもない、語る言
葉とてない、草木や水辺、
大地や、そしていろんな生
きもの達のことではないで
しょうか……。

個人的なことです
森田は、幼少の時を、谷
津干潟ですごしました。

森田は、自然保護や干潟
鳥のことは殆んど知らない
のです。哲学とか、これ
といった主義もないのです。
でも、でも、森田はこの変
り果てた干潟、あの「ふか
んど」と呼ばれていた頃の
ことを想うと、谷津干潟が
かわいそうで、くやしけれ
て、衰れそうがないの
です。だから、だから……
今日も来るのです。

水辺に思う

鶴目たか子

八月九日、環境庁は三
大都市圏を対象に「自然
観察の森（アーバンサン
クチュアリ）」構想を発表
しました。

私達の住む習志野市で
は何も新めて民有地を求
めずとも、谷津干潟とそ
の周辺に数十ヘクタール
の公有地があります。夏
も盛り、ハゼの成長と共
に谷津干潟を訪れる釣り
人や親子連れもその数を
増しています。

その干潟の水路の脇の
宅地に、最近一軒の住宅
が建築されたことにお気
付きの方も多々あるようか
と思います。私は、あの
土地は住宅地として造成
されてはいるものの、ま
だ個人には分譲されては
いないと聞かされていた
ので、丁事が始まった時
には只々びびりくりしてし
まいました。

昭和52年、第四次国設
鳥獣保護区五カ年計画に
リストアップされたながら、
国や県が認めているにも
かかわらず、習志野市の
反対に合い、全国で唯一
カ所保護区に指定されな
かった谷津干潟……。今、
再び第五次五カ年計画の
中にリストアップされて
いるといいますが、干潟
を守り、鳥獣保護区にす
るといのは、水面を残
す、ということだけなの
でしょうか？

私は、日本でも一、二
と言われる程の野鳥達が
この干潟を訪れるのは、
エサとなる干潟の魚やカ
ニ、ゴカイもさることな
ら、その周辺に果作り
の出来る緑地があればこ
そと考えます。

高速道路とコンクリー
トの住宅に囲まれたこの
干潟を野鳥の楽園として
残していくためには、も
うこれ以上、鳥達にとつ
ての環境破壊をしないで
すませたいものです。そ
のためには宅地として造
成されてはいても、花壇
や自然公園用地として転
用可能な、水路脇の干潟
に面した土地を少しでも
多く緑地帯として残せる
したでしょうか？

休み、谷津干潟に行くこと
を学校で禁止したそうであ
る。こちらには危険という理
由だが大人と行ってもいけ
ないという。危険、とい
われれば誰も反対する親は
いない。皆、事故が起きた
時の責任逃がれのような気
がしてならない。

干潟に行くと、土手の上
から、干潟のカニをめぐり
て石を投げて喜んでる男
の子たちをよくみかける。
あの子たちはきつと、一度
も下に降りてカニにさわつ
たことがないのだろう。カ
ニにも、目も口も手も足も
あり、自分と同じように生
きているのだということ。
石をぶつけられたら痛いな
だということを忘れている
にちがいない。

環境庁では「緑地の減少
率が目立っている府県では
校内暴力の発生率も高い」
と指摘し、子供にもっと昆
虫や野鳥とのふれあいを!!
と呼びかけている。

干潟に行くことを禁止す
る前に、干潟との接し方の



干潟との接し方を考えよう

秋津一住民

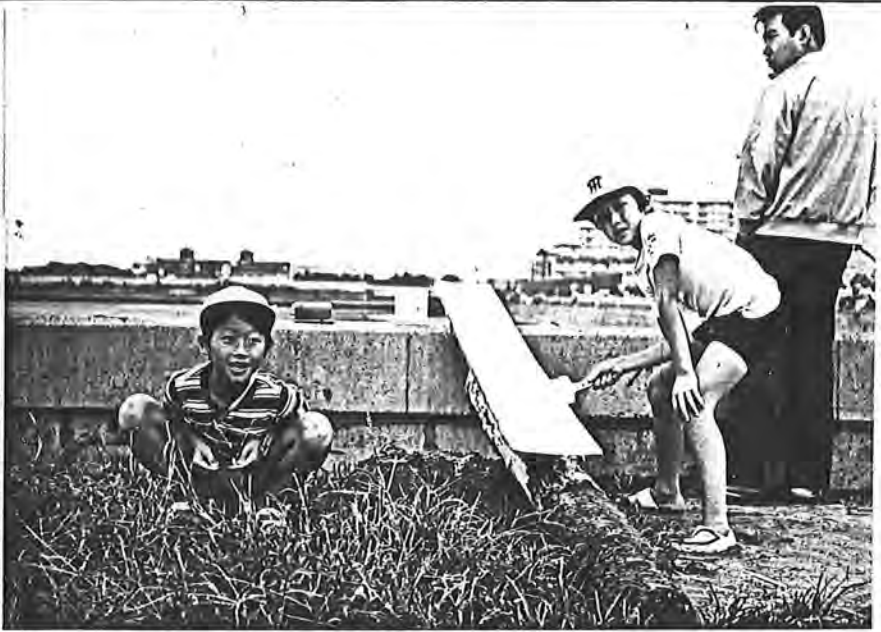
自然保護ということで、
浅間高原保護対策協議会か
ら昆虫採集を禁止された昆
虫採集家が、「あの辺の子
供はかわいそうだなあ、手
にとって見たこともない虫
に本當の愛着は持ちません
よ。昆虫学者は出なくなり
ますね」と嘆いているのを
禁止ということでは、夏
も下に降りてカニにさわつ



注意を充分に与え、大いに
利用し、大切にすることを
教えてほしい。鳥獣保護区
に指定されたとたんに、眺
めるだけの干潟になってし
まわないように地元の皆で
干潟との接し方を考えてい
く必要があると思う。浅間
高原の話は他人事ではない。

目算、目当
てすら持ち
得なかつた
長く暗い時。
ただ実践と
行動の日々。

今年いっぱい、かかってしまつた
と知れませんが、ペンキ塗りが、とってと大
好きなきょうごさん。ペンキで字を書くのが、



こ水又とってと上手なおかあさんです。千歳
のすぐ近くに住んでいます。
通りゆく人達は皆、「じつにのびのびとし
て、やみゆかり、そ
して温い字ですわ」
と、ほめながら読ん
でくれています。



この
頃の看
板は、
品と
風格
がある
そう。

(ペンキ代は、市民のカンパによる)

9月20日、場所

は国電津田沼のサン
パティック・高島屋の
階。

電電公社は、県内
唯一の所の「津田沼
サービスセンター」
・ミニ画廊の利用と
感想について、参加
者の意見を求めまし
た。

習志野局長、船橋
習志野公民館長を
はじめ、各団体の代
表20名が出席。

500万人突破、千葉県の悩み

開発優先の陰の通勤地獄、医療過疎

「千葉都民」にふるさと意識を

「東京の近郊には関心が
高いのに、県内のことになる
時は「酷電」そのものだと言
ふのは、一県庁
とさびらき……」

幹線がしばしばほろほろと
県内にマイホームを持ち、動
機は東京の、いわゆる千葉都
民のことである。

こうした新住民が三十年代
後半から爆発的に増え続け
た。特に四十二年から六年間
の増加率はさまざま、年平均
均四・九一と全国平均の三
倍以上。毎年、十七万人規模
の都市が県内に誕生した格
あける毎日だ。

好。低成長時代に入つて、や
や鈍化、昨年は一・七九とだ
つたが、それでも全国一だ。
急激な膨張は、かつての東
京がそうだったように様々な
ひずみを生んでいる。たとえ
ば市川市内を流れる真間川。

ふだんは異臭漂う典型的な都
市河川だが、流域の宅地化が
急ピッチで進み、その結果、
保水機能を喪失。一昨年の台
風二十四号の襲来では八千
し、浸水家屋は四千八百八十
戸に上った。この時の雨量
は、二十五年前の狩野川台風
の三分の二程度に過ぎないの
に、被災家屋はほぼ同じ規模
だった。

通勤地獄にでもなつた。
千葉、船橋、松戸、柏など京
葉・東葛地区に、県人口の約
千五百万人を突破した。全国で八
番目で人口伸び率は全国
一。東京湾横断道路の建
設計画や成田空港の二期
工事など大プロジェクト
を抱えているが、過密と
過疎のひずみも大きい。

谷津千歳と、その大きな流水の

つなのだろう。いつの時でも、希望
と悩みはあるものだし、そして常に、
転換期であり節目でもあるのだ。

谷津干潟クリーン作戦の金字塔、海草=藻の発生を見る

ふかんど...海草をふかくに積んで、その上ですきこぎを取っていた頃の谷津干潟の名前

ふかんど

オ273号

1983.10.1

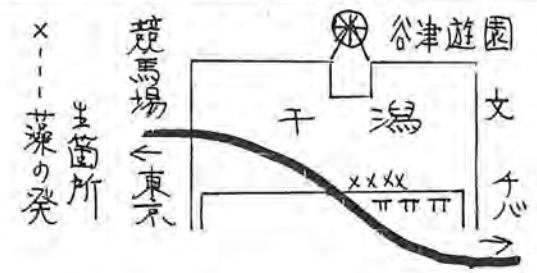
谷津干潟愛護研究会
 〒275 習志野市谷津字七七鶴荘E号
 電話〇四七四一五一一五〇四四
 文責 森田 三郎

会費 年2000

創立 1974.12.9



(藻の略図)



「藻は「海の子宮」である

谷津干潟に、海草、藻が生えるなんて、ちよつと信じ難いだろう。が、本当なのだ。九月中旬、初めて藻が根を張って自生しているのがわかった。しかも、中旬に発見した時には、三つのグループだったのが、九月の下旬には四つになり、更に、十月一日には又一つ増え、五つになっていた

谷津干潟では初めて

谷津干潟が、今日の様な形になったのは、「京葉港を二次埋め立て工事」が開始された、十二年前の昭和四十七年である。私の知る限り、その時すでに藻はすべて消滅して、比較的汚染に強い海草の一

種、カワナだけがわずかに残っていた。干潟の前田、及び周囲の工事が始まると共に、干潟とその生物産は文字通り壊滅的な打撃を受けたのである。貝類はちっ息死し、流水込んだ土砂、とくに粒子の細いドロコが腐り、悪臭を放ち、生活及び産業廃棄物がいた了所で捨てられていた。

時に四十九年、習志野市のプロジェクトチーム(市内の常識経験者よりなる)は、干潟の調査をし、中途にて打ち切つて結論を下した。して、その結論とは、「干潟は数年のうちにして、生物がすむには能わざる環境になつた」との、すなわち「死の宣告」が下されたのであった。市当局の最高幹部が公けに、明確に言明してはばからなかった。

しかしそれは同時に、谷津干潟クリーン作戦今日の大を放す、その引き金、「原因」ともなつたのであった。森田個人、心身の内奥より、地熱め、赤黒くドロくとしたあの溶岩の如きもの、妖しきまでにつごむく律動、躍動し波打つが如きの精力の泉を自覚した時でよかった。

「アマモ」、それが生えていた所は以前、夏になるとドロコが腐つて朱色や緑色になり、さまざまの悪臭だった。カニは勿論、ゴカイとすめなり無生物状態だった所である。

・ゴミを捨りまくり、五年程前より砂を入れた。今、ゴカイの穴だらけでカニが体操し、そして藻が出てきた。

東京湾の漁民が海を守り、由來を闘うその意気をなくした理由の一つ、それは藻場の消滅。

よくお子さんを連れて参加します } 潟スキーを計画中 } 谷津干潟を私産の日常生活の一部に



●谷津干潟友の会では
毎週日曜日、一般市民の為に、望遠鏡や図鑑を自由に貸出し、説明に当たっています。時間は午後一時〜四時までです。干潟近くお住まいの方、どなたでも自由にご利用下さい。写真は秋津三丁目子供会の皆さんにご利用下さい。写真は秋津三丁目子供会の皆さんにパネルで野鳥の説明をしている友の会の長塚進吉さん。

写真提供—谷津干潟友の会

初めて参加したクリーン作戦
そうじはあまり好きではないけど...

私は、クリーン作戦に初めて参加しました。今までは、子供会の行事とクリーン作戦の日が重なって参加できなかったけれど、今度のクリーン作戦の日は、予定もなかったし、近所の人からも参加してほしいと言われていたので、お母さんと二人で参加しました。

私は、干潟にいる鳥やカニなどを見るのは大好きだけど、そうじはあまり好きではありません。この日はとっても暑くて、ろくに働かもしなかつた私もあるけれど、秋津の人達は、そうじに来てくれる人達を見てみると、秋津の人が少ないことに気がきました。こんなに近くだというのに、なぜそうじに来ないのだろう。秋津の人達は、そうじに来てくれる人以外、みんな予定などがあるのかな。と不思議に思いました。



谷澤邦枝

秋津小学校五年

秋津の人達に言ってみて、いつでもきれいな干潟にしておこう。って言うてやりたい。

標識調査を初めて行う

干潟内で、ひと晩中テントを張ってがんばってります。鳥の足にリンクをはめ、渡りや移動のコースを調べます。谷津では最初です。

東京農大の桑原氏、以下3名

設計・施工者 長塚進吉氏

干潟の中を、ゴミを拾いながら歩くのは、更に大変。そこで長塚氏、スキーの様なものを作って、軽便に能率よくやろうというわけ。谷津干潟では初の試み。さて皆さん、お楽しみっ！

わたしの谷津干潟

宮川郁子



私が干潟の掃除に初めて参加した頃は、干潟は大きなゴミ捨て場のようで、ゴミを土藪袋につめても、つめても下からわき出てくるようでした。月にたった一度、わずかな時間をお手伝いするだけの私は、たいして役にも立てませんでした。あれから3年余り、森田さんの献身的な努力とボランティアの方々の協力で、見違えるほどきれいになりました。

今では砂も顔を出し、緑の草が茂り、たくさんのカニ達が巣をつくっています。潮の干つて魚の群れも、すぐ近くまでやってきて、それを追って鳥たちも姿を見せています。時々子供を連れて参加します。

(谷津五丁目在住)

市民のボランティア

カンパの木。日曜・休日ゴトにぶら下げている金の、通る市民に呼びかけられます。

草刈り。ベンの所です。草が多すぎるので



谷津干潟友の会し、干潟のことをよく知ってやろう

谷津干潟の名前
小かんど：造船所で漁船が出来ると、大漁旗を立てて沖を一周し、船がまわりでオモ子をまいた頃の

ふかんど

№274号

1983.10.6

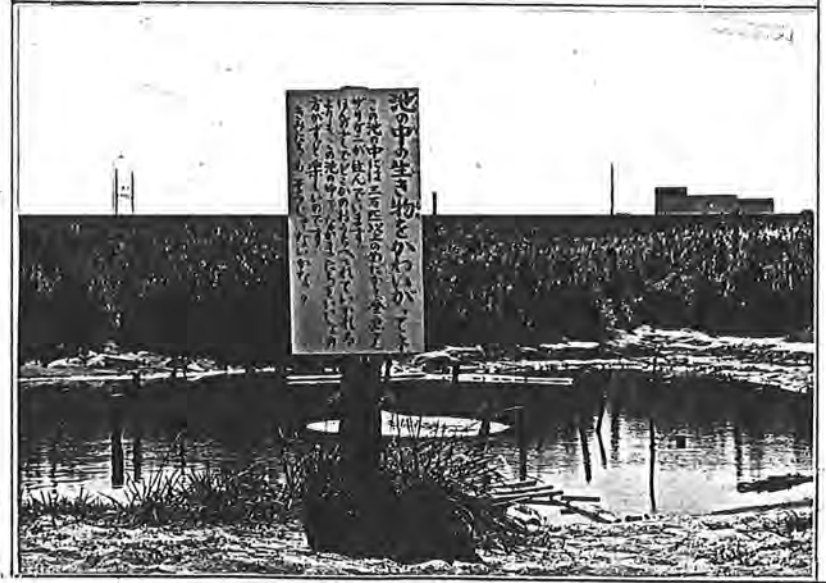
谷津干潟愛護研究会
〒275 習志野市谷津三十七 鶴荘E号
電話〇四七四一五〇四四
文責 森田 三郎

会費 年2000
創立 1974.12.9

拝啓 「いんしぎ」さま

いんしぎママさん ありがとうございます
メダカの池のあたしたち
いのちを支えようパンのミニ
毎日せっせと ありがとうございます
三万びぎと増えたいのも
みんなママさん あなたです
なにせこの池 まだ三年
おまけに塩の気 カニもすむ
プランクトンとて ままならぬ
一度なんぞは 干あかして
卵のほかは ありせ行き
いらんることが あったけぞ

「池の中の生き物をかわいがってね」
ウーマンカーペンターのなげきをよそに、
時々、ごっそりと、大人かとりに来ます。



水も安定 よかったす
ママさんメダカの 学校の
給食係の エライ人



三井不動産 坪井 東



自民党代議士 友納 武人



昔「青べかの町」、今「首都圏レジャー」の新名所。今春、浦安市に華やかに幕開きした東京デイスニーランドは、東京湾岸の荒涼とした埋め立て地のイメージを一変させた。この新事業を推進する三井不動産社長坪井東（ひら）は市生まれ。

「デイスニーランドは、お客さんにとっての楽しみだけでなく何れも足を運んでもらえるかどかが勝負。どんな道加投資をし、科学万博のような性格を採り入れていくのか、変身をはかります」。変身は三井不動産の経営。戦後、貸しビル業から埋め立て地造成、都市開発、住宅産業……と脱皮を重ね、業界首位の座へ。江戸英雄会長を助け、その陣頭指揮に当たったのが坪井である。

新人国記 '83

柔軟性とバイタリティーを併せ持つ腕力型秀才。千葉とは埋め立て事業を通じて縁を深め、農漁業界から工業界への戦後の変容に大きくかかわった。

県の委託に応じて、東京湾岸部に京葉工業地帯の半分面積約三千haも埋め立て、会社の売上げを何十倍も急成長させる。が、工業地帯の造成は後に公害批判を招き、県との密接な関係は癒着批判を呼ぶ。当の坪井は心外そうに、「アサリを取って暮らすしかなかった戦前と、デイスニーに年間一千万人が遊べる現在。二つの経済の利害

得失を公正に判断願いたい。
坪井と手を結び、行政の立場から千葉の開発を推進し、開発知事と異名をとったのが元知事・現自民党代議士友納武人（みづの）だ。厚生省のエリート官

千葉県

開発の収支と波紋

> 597 <



谷津干潟 森田 三郎

傑出身だが、ソツのない優等生の顔に火中のクリを拾いかねぬ不敵さが時にのぞく。
三十年前の千葉は、職員の給与支払いにも事欠く貧乏県。農漁村の次三男にいかにも職を与えるかが県政最大の課題だった。財政ひっ迫が生んだ知恵が、千葉方式と呼ばれる企業の金を当てに埋め立てを進める官民共同の独特のやり方。その方式が図に当たり、高度成長の時代の波にもうまく乗って、千葉は全国一の埋め立て県へ。空前の開発ブームは「土地の利権」―金権千葉―の汚れた権図を生み出す。仕掛け人の立場の友納は、「こんな大きなことば思ひもよらなかつた。西部劇のゴールドラッシュのような始末は、仏ついで魂を入れ損ねたのかな」。
開発の進行は地元にはさまさまな波紋をもたらしたが、習志野市にある珍しい野鳥の楽園・谷津干潟のドラマもその一つ。死にひんしていた干潟がよみがえったのは、地元の商店員森田三郎（みづの）の現代表「青の洞門」ともいえるべき一念

すべ目と鼻の船橋市の海岸べりで育った森田は、干潟の海が遊び相手だった。潮が引けばカニや貝を手づかみにし、風車や水車の見えるのどかな風景に少年の夢を膨らませた。が、長じて市川市へ越し、九年前、久しぶりに見た干潟に目を疑う。あたり一面が埋め立てられ、わずかな国有地分三十haほどがぼつかり残るだけ。しかも、古材や粗大ゴミ、生ゴミが山を成し、ゴミのために腐臭を放っていた。
「胸が痛んで涙が出ました。干潟に自分がしてやれることは何だろう、と自問し、「ゴミを思い立った」。
当時の仕事は新聞配達で、日中は自由。雨の日も風の日もバイクで干潟へ通い、身一つでゴミの山と格闘を始め。狂人扱いの中で、二年、三年、汚泥を手にし過ぎ、両手の指紋が消えてしまった。

が、その献身が人を打つ。近くの主婦たちがゴミをいかに加わり、無理難たつた県や国も干潟保護へ腰を上げる。六年越しに実現したゴミは、土のう数万袋、大型トラック数十台分。昔の砂地が顔を出し、カニやゴカイが戻った干潟に、シーソンの今、一万羽近い渡り鳥の群れが羽を休めている。(敬称略)

新聞記事への反響が又、記事になりました

その日その日の干潟にて

朝日新聞(声) 10/13

絶滅した藻が 干潟に戻った
 習志野市 中村 翠 (主婦 37歳)

私たちの市には、野鳥の楽園「谷津干潟」があります。広大な干潟も埋め立てられ、数年前までは生活排水と、工事用残土の捨て場となり、悪臭放つ水たまりでした。その後、種々な自然保護団体や有識者の働きかけにもかかわらず、干潟は鳥獣保護区に指定されることもなく今日に至っています。先ごろ、谷津干潟愛護研究会会長森田三郎氏により、海藻が生えているのが発見されました。森田氏は十年ほど前から干潟にかかわり、特に数年前からは「谷津干潟クリーン作戦」と称して、周辺の主婦ら市民と共に清掃を続けている人ですが、毎日干潟を見ている人ならではの発見に、関心を持つ私どもは歓声を上げたのです。

干潟に二十数年前に絶滅したはずの藻が生えてきたということは、はからずも昔の自然を取り戻しつつあるという証拠だと思えます。そしてそれはまた、私財をなげうって自分の腕とほんの一握りの善意の力を支えに、ちまたをゆまず、細々と続けられた「クリーン作戦」の成果だと思えます。

→ 夏、干潟の中で悪戦苦闘した後、市民差し入木のジュースを飲んで



谷津干潟クリーン作戦。何と特定の日や、行事でもなく、奥に、常日頃の生活行動そのままがつうである。同時に、観察会、説明、大工・土工作業、ペンキ塗り、草刈りなどと、軍隊で言えば、陸海・空軍を備えた、「海兵隊」かな？



↑これが、今年のお正月の三ヶ日の姿でした



→ これでは、車かたまりませぬ



あちこちでゴミを集めて運びます

↑PARTY ↓
 「新人国記」にての感想が寄せられました。

↑PARTY ↓
 「谷津干潟に藻が発生」の記事で、私達の生の姿を知る人からです。

横須賀市 藤宗 洋子 (主婦 35歳)

本紙の「新人国記」をいつも楽しみに読んでいたが、とくに「千葉県」開発の収支と波紋は、対照的な一様の人間の生き方を考えさせてくれた。

一方は、千葉の埋め立て事業にかかわり今春「東京ディズニーランド」をオープンさせた、業界首位の座にいる不動産社長。もう一方は、久方ぶりに見た故郷の干潟の姿容ぶりに驚き、「ゴミを思い立った地元の商店員。取材された記者は、開発という一つの事業の裏の」

表に表れた人間のさままな生き方を、読者に問いかけたかたのたのたはなかるか。夕食のひととき、その話題で食卓がにぎわった。三年生の息子は「ほくもディズニーランドみたいな楽しいものをいっぱい遊ばせようね」とリヒビロと一杯機嫌の主人、「世の中はさまさま。人間がどう生きていくかは難しいもんだよ。そう一言ではかたづけられないよ」と哲人ぶった言葉で、この話題を締めくくった。

「お兄ちゃんが好きななあ。何にも得するわけでもないのに、たった一人で必死になつて偉いと思うよ。あなたたちも大きくなったらそんな人になつてほしいな」と言うち、すかさず息子は「やっぱり金持ちになる方がいいな」だつて。

「お兄ちゃん」といふのが好きな元の話者を締めくくった。

小かんど・・・空腹の極限まで遊び、湧き水の所で腹いっぱい水を飲んで、赤くと腹がケケケ音をたてていた

ふかんど

№275号

1983.10.13

谷津干潟愛護研究会

〒270 習志野市谷津干七 鷗荘E号
電話〇四七四一五〇四四

文責 森田三郎

会費年2000

創立 1974.12.9

ザリガニを釣って、メダカの池で飼ってます

二人とも、秋津団地の子供で、8月の夏休みに行きました。



谷津干潟愛護研究会は、ザリガニを飼っています。そして、その釣り方を教えています。この二人は、時々メダカの池の作業や、クリーン作戦を手伝ってくれるので、おれに連れて行ってやりました。

ここは、谷津干潟のすぐ近くの埋め立て地の水溜まり。秘密の場所。入る物は、森田の長ぐつ。30秒に一匹は必ず釣れます。



ザリガニはメダカの池に巣を作り、繁殖しています

自然再生へ明るい兆し

め立てで、一時は魚介類がほぼ全滅し、「死の泥海」となった谷津干潟に、ようやく生物回復の兆しが見えたと関係者は大変な喜びをうた。

毎日、朝昼夜の三回、干潟を見回っている同会の森田三郎会長が今月下旬、干潟南側の護岸近くで、藻が根づいているのを見つけた。約二十センチの藻が四方所に点在していた。黒っぽい泥に覆われた干潟に、緑色の藻が鮮やかなコントラストを描いていた。

谷津干潟は、四十六年からの第二次埋め立てで、漂流した泥水に埋まった。粒の細かい泥で、干潟は窒息状態になり、四十九年ごろには魚介類がほぼ全滅してしまっただけでなく、藻が根づいてきたこと、と森田さんがクリーン作戦に乗出した。五十年九月のころだった。干潟のゴミを拾って乾燥させ、ガソリンスタンドからもらって来た廃油で処分するといった日が続いた。効果が見えはじめたのは五十二年夏ごろから。貝類やカニが生息するようになった。藻は魚の糞や、鳥の糞が、最盛期には約百七十種、一万羽も飛来するまでに

よくなった。これらをエサにする渡り鳥が、

ほとんど藻が戻ってきたことについて、東邦大海洋生物研究室の風岡利夫助手は「藻が根づいたことは、干潟の砂が安定してきたことを意味する。五年、十年後にはかなりの面積に広がっていくだろう。藻は魚の隠れ家や産卵場となるばかり

か、保水力があるので、生物が増える条件が出来たといえる。以前の豊かな干潟がよみがえる可能性が出てきた」と話している。

たった一人の運動で始まったクリーン作戦も、いまは干潟近くの主婦、自然保護グループなど

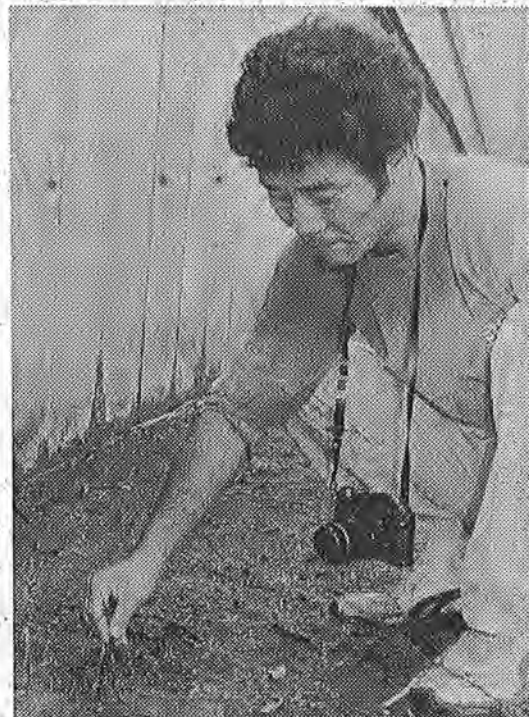
百人以上が参加するほどに発展した。森田さんは、東京湾奥に残された最後の干潟が、野鳥の楽園としてだけでなく、魚が飛びはねたころの姿に戻るのも夢ではなくなった。藻はクリーン作戦の金字塔です」と、興奮した表情だった。

10月12日、護岸に沿った東寄り、最も大きな藻のかたまりが更に一ツ発見されました。直径約60cmほどのもの。

このときやはり、6年前から砂を入ってきた所。ヨシ野を作り、水辺の草を刈らせ、カニがすみ、そして藻が。

水辺に藻が根付く

4カ所在 愛護研、大きな期待



46年の埋め立て以来、初めて姿を見せた藻と、森田さん＝習志野市の谷津干潟で

習志野市谷津にある谷津干潟に、ちよっぴり自然が戻ってきた。水辺に藻が根づいているのを、このほど谷津干潟愛護研究会が見つけた。46年からの第2次埋

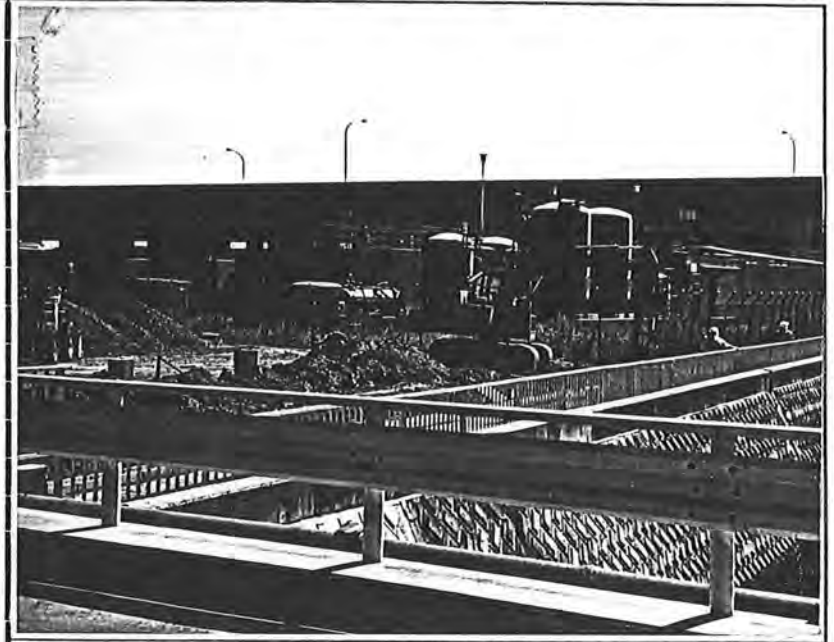
谷津干潟

ここはと、ガレキの山でした



おかあさん、クリーン作戦。
ぼく、こうして、待ってるのよ。

才86回谷津干潟クリーン作戦。9月20日(火)。
今は、「クリーン作戦モデル地区」の標識が
立つと、9年前まではゴミ捨て場同然の所で
した。谷津干潟で最も汚なかつたここに、私
産は、環境と社会的の双方の両面を考え、多
大の労力を注ぎ込んだのでした。クリーン作
戦は現在、月3回の「3本立て」で行なわれ
ております。



「クリーン作戦って、こんなに
楽しいものなのね、健康的」



京葉建設事務所
2長を案内、交渉
後一年。工事は着
々と進行中です。



「最近、ゴミが少なくて、捜
さなくっちゃわ」と主婦産



植樹後2ヶ月、根が付き始めました

ふかんど...潮だまりの中に、炭ダワラヤゴザを入れ、次の目に行き上げると、渡リガニヤウナギがとれた頃。

ふかんど

号276

1983.10.16

谷津干潟愛護研究会
〒275 習志野市谷津干ヤゴザ駐在E号
電話〇四七四一五〇四四
文責 森田三郎

会費年2000

創立
1974.12.9

なに、メダカが欲しい?、ならあ、働け!

タダじゃあやらないんです、タダじゃあ、もちろん、お金では、絶対にかメ。ハタラクこと、つまり、勤労奉仕すること。下の写真を見て下さい。いっしょけんめい働いていらっしゃるのですか。りっぱです。私たちは、子供たちに知ってもらおうのです。なんでここに、メダカがいるのか。どうしてここに、メダカがすめるようになったか。メダカがすめるようになるには、何をすべしのか、を。

「森田さん、オレ、中村土木っていう会社なるのかな」だって。この子供達、干潟に来るとすぐに、「スコップを貸して下さい」と言うのだ。



つまり、彼ら、こういう事が好きなんです

看板の化粧なおし

戦う看板から、見栄えのするものへ

昭和50、56年頃は、とにかく作り、書き、そして次々と立てていく有様だった。行政と、とにかくぶつかることが多かったのである。すべて、森田個人で力いっぱいやった。

しかしその後、干潟を次第に安定して来て、とくに市民の散歩などの姿が多くなり、バードウオッチャーを圧倒するようになった。会員の中から、品良く書く人が出て来てくれた。

<あー>、疲れたあー!



ぬかるみにはまって、悪戦苦闘でした

10月2日(日)



夏も盛りの大雨の日、会員の五十嵐氏がコロニーへ鳥の撮影に行った時の事、車がぬかるみにはまり、救援急にかつつけた石川氏共々、雨の中、大の男三人が力の限りを尽くしたが車はビクともしせず白暮れとな

った。二日
後建設会社
の協力を得
て、何とか
ぬかるみか
ら脱出した
が、埋立地
へ出かける
時は暮々し
市甲心を!!

ある日の谷津干潟友の会

休日には、いつとこういう光景がくり広げられております。人が多かつうが少なかつうが、絶え間なく必ず行なわれておりま



す。

望遠鏡、図かん、友の会の旗、生物標本、幸福の黄色ハンカチの旗、鳥の看板と台、パンフレット。これらは友の会の七ツ道具です。

手さげのついた袋をゴミ袋に利用することになりました

従来は、クリーン作戦のゴミ袋は、愛護研究会の方で用意していましたが、これからは、スーパー等で買物袋として使っている手さげのついたビニール袋を、ゴミ袋として再利用することにしました。

これは、クリーン作戦に参加している主婦の方の提案によるものです。考えてみれば所詮はゴミを入れる袋、何れ新品でなくてもよかったです。これで少しでも経費の節減になり、又、省資源に役立てば、一石二鳥ですネ。

お手許に余分なビニール袋がありましたら市協力ください!!

“保護運動のからし種” 谷津干潟クリーン作戦の一步また一步 (北部戦線)

ふかんど... 風車や水車のある田んぼに、イナゴが蚊の大群のようにして、イナゴ取りをした頃。

ふかんど

№277号

1983.10.21

谷津干潟愛護研究会
 〒270 習志野市谷津字七郎庄E号
 電話〇四七四一五〇四四
 文責・森田三郎

会費年2000
 創立
 1974.12.9

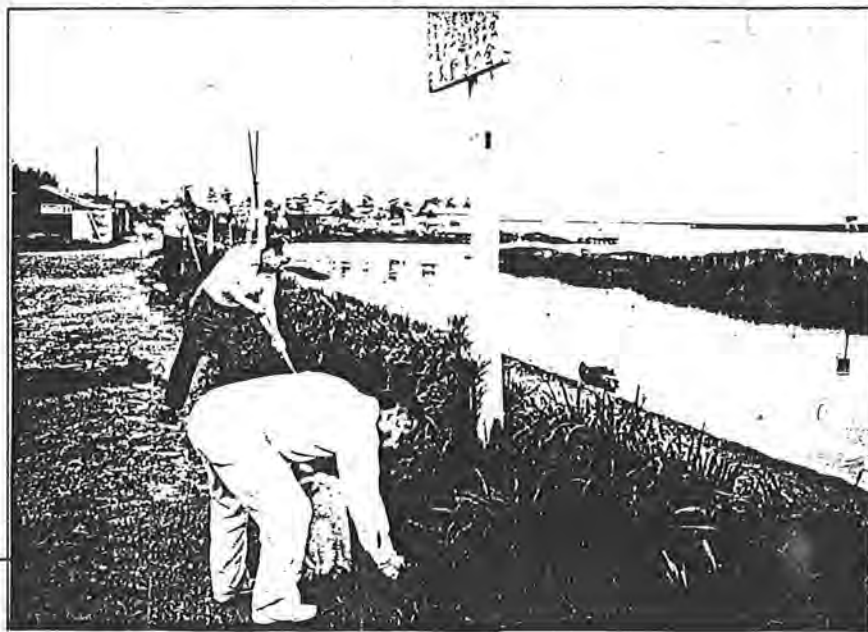
昭和52年5月。住民の
 協力を得て松の苗100本植樹

←その後約50本が大きく成長



埋め立て工事後面となり頃。前方の
 柵は、谷津庭園のグラウンド。
 ここは、谷津三丁目の前面で、字真
 の左側の堤防の上にはまだ納涼台が10
 軒程あった。干潟が「ふかんど」と呼
 ばれ、潮干狩りに使用されていた時は、
 ゴミは余り捨てられなかつた。
 しかし、この直
 後から、生活・産
 業廃キ物などが大
 量に、そして次々
 と投げ捨てられ、
 まさにゴミ捨て場
 と化していった。

→ 昭和50年12月3日



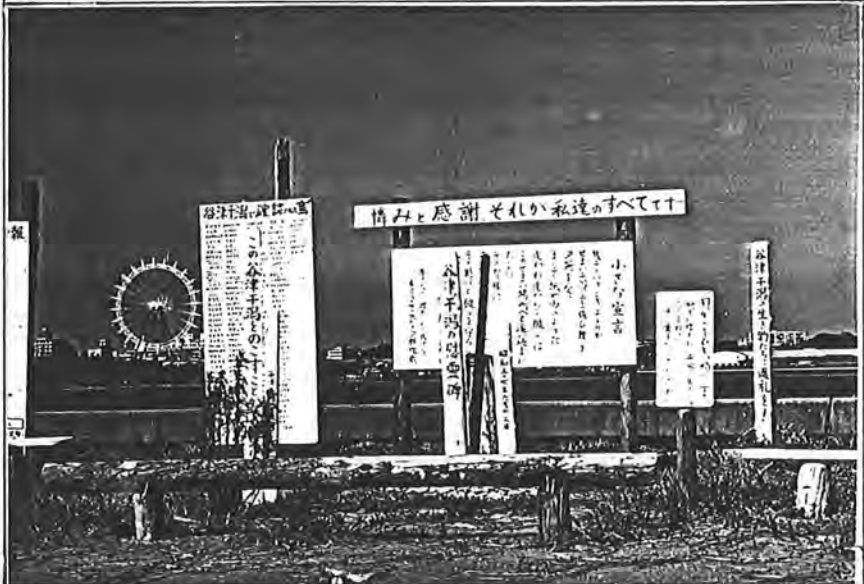
→ 昭和56年9月17日

「汚ないから埋めてしま
 え」とか、「習志野市の恥
 部だ」という住民や市当局
 の声の中で、初めて、唯一
 人から干潟の清掃が始まっ
 た。向となく、すぐ近くの
 主婦たちが協力してくれる
 ようになり、今日の「谷津
 干潟クリーン作戦」という
 名前が誕生し、その名前の
 ともに、干潟の清掃が絶え
 向なく行なわれるようになった。

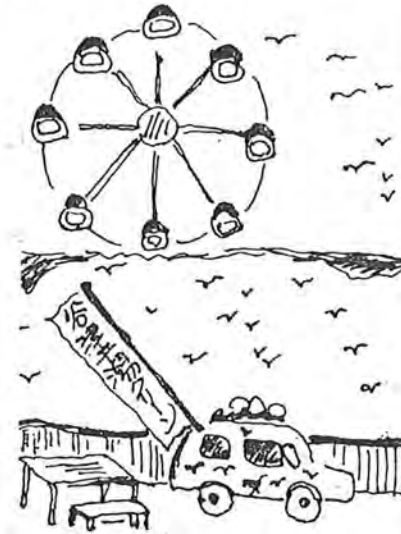
ここは干潟で、環境、社会的に最も重要な所であったのだ。

「たのであ
 上の字真は、かなりのゴミを
 拾い、クリーン作戦を毎日の如
 く続行しながら、かフチ作りの
 干潟で、スコップと一輪車で成
 成していった時のものであ
 「谷津干潟クリーン作戦モデ
 ル地区」の標識はこの時立てた
 ののである。今はこの字真より
 もはるかにキレイになり、ゴミ
 を捨てず人はますます少なくなった。

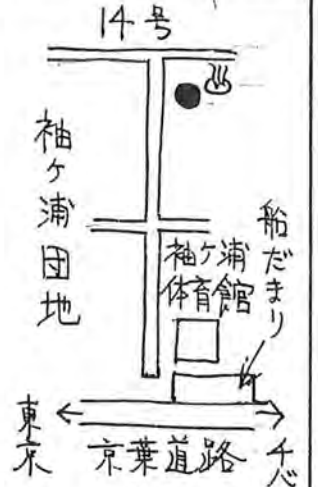
(字真は、谷津三丁目の前面の干潟)



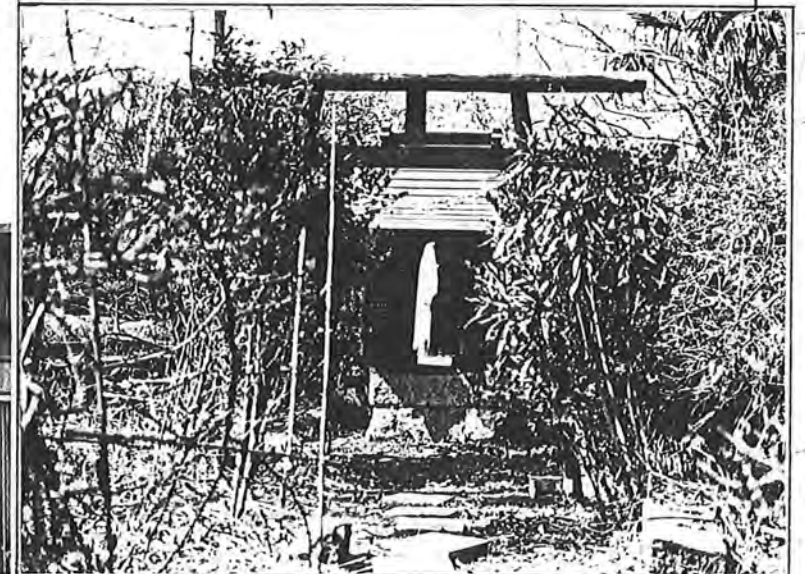
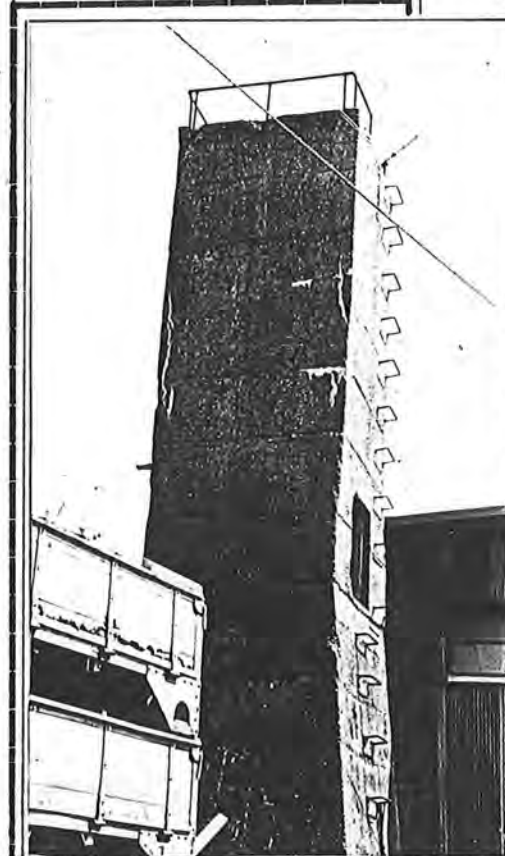
看板に
ペンキを
塗って、
そして字
を書きこい
ていり
くというのは、実に時間がかかるのです。
予算の上は、日が暮れて暗くなってしまう
たので、やむをえず、車のヘッドライト
を当てて書いていこうとします。



これは、其の昔、すぐ前
が蘆刈のうみの頃、佃煮の
工場だった。今は使用され
ておらず、修理とされない
で荒れ放題である。今は知
る人と少ない。



字は、大体水色です。そしてこの色を、谷津
干潟の「テーマカラー」にしようという声があ
ります。これから冷たい木枯しの吹く季節です。
雨の白風の白もあり、字を書く手がかじかんで
しまつてもあります。がんばって下さい。



∴ このすぐ近くに、ラジウムが出る「さぎぬま温泉」がある

実は、これからが大事であり、気をゆるめず、しっかりと絶え間なく努力し続けましょう。

ふかんど

第278号

1983.11.1

谷津干潟愛護研究会

〒278 習志野市谷津干潟七丁 鶴荘E号
電話〇四七四一五〇四四

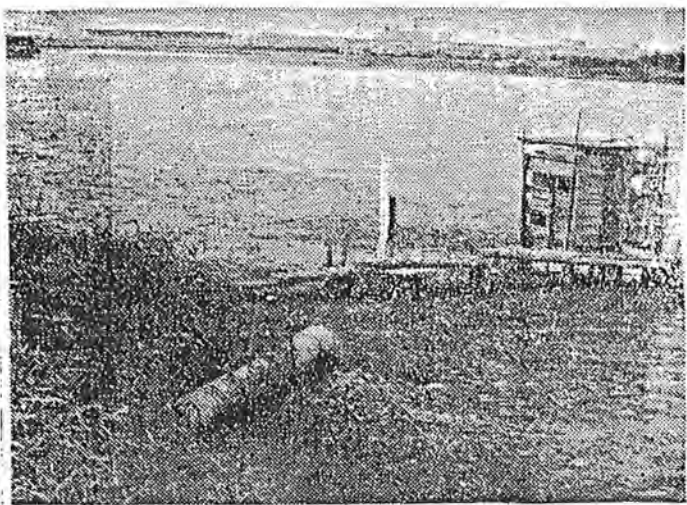
文責 森田三郎

会費年200

創刊 1974.12.9

谷津干潟を緩衝緑地に

●公害防止事業団が構想



サンケイ新聞
58.10.24

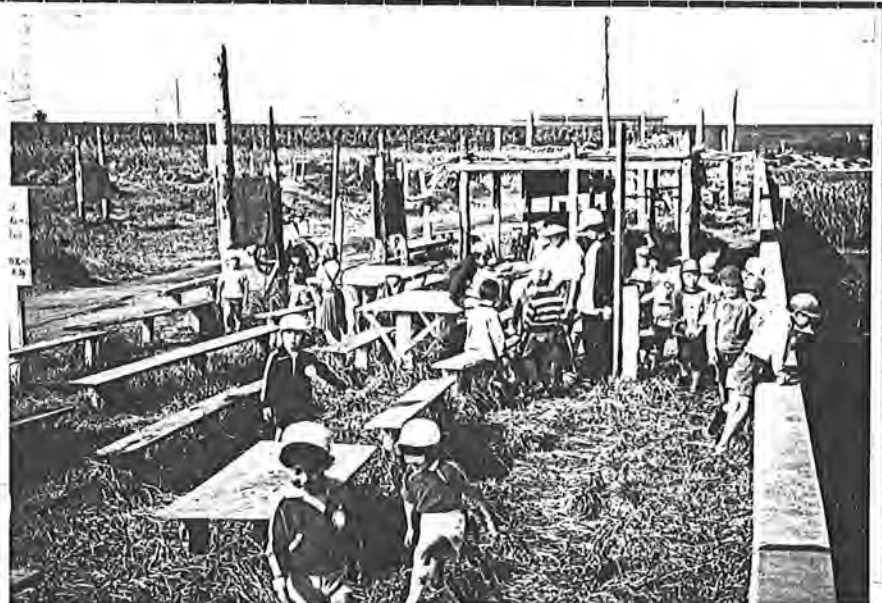
野鳥観察の水上公園など

4ヵ年計画 総事業費150億円

公害防止事業団の構想は、谷津干潟三十三号を中心とする沿岸道路側の土地約六十号を、将来的に緩衝緑地公園に造成、とくに中心

【習志野】国の公害防止事業団は、来年度事業の自主として、習志野市の谷津干潟を含む一帯を多目的緩衝緑地として造成、保存する構想を固め、地元習志野市と協議に入っている。構想が実現すれば、市に浮いている同干潟の開設局が指定問題も一挙に前進、あわせて周辺の街づくりにも寄与するだけに、同市は大乗の意。問題は巨額な事業費負担だが、同市では既に協力を求めたとして、積極的

と谷津干潟はかつては、野鳥観察地として水公園として利用していた。総事業費は四億計画で、約五千億円を要するが、財源には政府補助金を多く、環境庁の補助を受けながら進め、完成後地元が管理し、二十年間で事業費返済の方式を考えている。同事業団による緩衝緑地造成事業は、県内では初めてで、習志野、市東部市で行われており、手続的には地元習志野市の申し込を要する事業団が施行する形をとっている。今回のケースは、事業団から習志野市に構想を持ち込んだものだが、同市では「将来に向けての緑化確保と福島の鳥獣保護区設定問題が一挙に解決する」と大乗り気だ。とくに干潟の鳥獣保護区指定問題は、谷津干潟愛護研究会や日本野鳥の会東京支部などの熱心な働きかけにもかかわらず、地元住民の一部に懸念などを理由とする埋め立て要望が後押しとなり、干潟に流入する下水処理の費用負担問題などがネックとなって市に浮いていただけに、市当局としては「緩衝緑地造成の中でこれらが解決すれば、指定実現に大きく前進する」と（伊藤厚助氏）と、強い意欲を見せている。



ベンチと園児
時々こうした光景が見られます。一日も早く、観察舎や係員が欲しいもの。

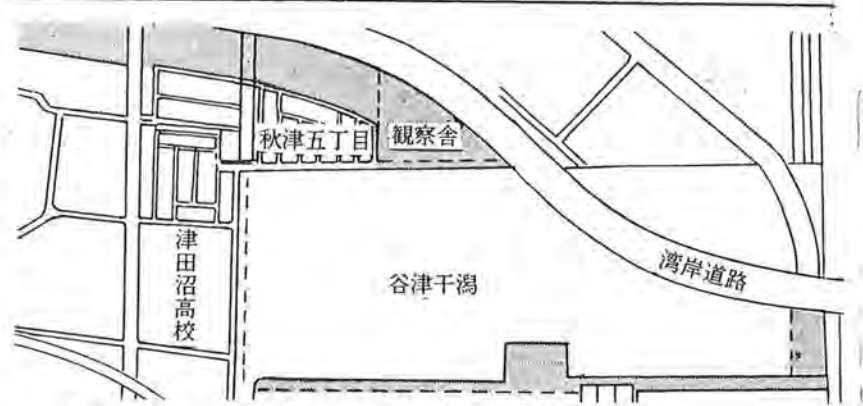
1983.10.25

「干潟自身」の中にこそ、すべてが見え隠れします。

どうしたら、谷津干潟が残せるか。どのようにして、谷津干潟を甦らすか。その問いも、その答えも、すべては谷津干潟の中であり、そして、そこに「書かれています」のです。

西洋のことわざに、「我々は治療し、手術する。しかし、なおりますのは神である」というのがある。人間の体のそれと同じく、干潟も、その諸機能において「健固本位」につくられているのであれば、私産は、そのお手伝い。より良く働き、機能しやすい具体的方法を見出し、努力することこそ全身全霊を尽きたりものである。愛護研究会は、その用木、ご用聞きでもある。

クロード・ベルナール著「実験医学序説」、ウオルター・キャノン著「人体の叡知」を進める（森田）



環境庁—公害防止事業団による 「野鳥の楽園」づくり 谷津遊園跡地にも30メートルの緩衝緑地

「環境庁は公害防止事業団と連携し、来年度から緩衝緑地の多目的利用や融資対象の拡大などを進めることになった。」

「具体的には来年度、千葉県習志野市の湾岸道路沿いに広がる干潟(五十ハチ)を緩衝緑地として取り囲み、鳥類観察施設付きの「バードサンクチュアリ(野鳥の楽園)」づくりに着手する方針。自動車騒音の低減も目指しており、事業費は四年間で五百五十億円を見込んでいます。」

これは九月十八日朝日新聞朝刊の記事について、干潟の津田沼高校側は一部埋め立て、幅二十メートルの緑地帯をつくらう一部幕張西六丁目までつというもので、文字通り「干潟を緩衝緑地として取り囲む」野鳥の楽園構想。谷津遊園跡地に対する市にまたがることから、三社プランでは、干潟に沿って十メートルの散策道と六メートルの車道、合せて十六メートルの幅しかなく、干潟につき出ている運動場も臨時駐車場もこの事業にとり入れられるものではなく、自治体の予定。これは谷津干潟を鳥獣保護区にしようという環境庁の方針が意味で、今後の事務交渉で習志野市が積極的に動かなければ実を結ぶものではないが、谷津干潟の宅整備公園による跡地開発を望んでおり、その場合、公園とタイアップし、バラ園も保存していけるという話であった。

また、湾岸道路沿いに

緩衝緑地、多目的に 臨調答申受け 環境庁

環境庁は公害防止事業団(城戸謙次理事長)と連携し、来年度から緩衝緑地の多目的利用や融資対象の拡大などを進めることになった。臨時行政調査会の最終答申で同事業団の業務の改善を強く求められたため、今後さらに公害防止事業団法の改正も含めた抜本的改革を計る。

具体的には来年度、千葉県習志野市の湾岸道路沿いに広がる干潟(五十ハチ)を緩衝緑地として取り囲み、鳥類観察施設付きの「バードサンクチュアリ(野鳥の楽園)」づくりに着手する方針。自動車騒音の低減も目指しており、事業費は四年間で五百五十億円を見込んでいます。

また、来年三月にジェット機が就航する予定の富山空港周辺に八杉の緩衝緑地を設け、近隣住宅地への航空騒音を防止することとしている。事業費は三年間で二十億円の見込み。

融資業務については、湖泊で深刻化している富栄養化対策の一環として、霞ヶ浦や琵琶湖などの周辺工場が排水処理施設を導入する場合、新たに融資対象とする方針。湖泊汚濁原因の半分以上は生活雑排水対策に

「このままでは、数年先に『つばらい建』という。これに対し同市議会の野党議員の中には「財政難を理由に公害規制を緩和するもので危険」と警戒する声も出ている。埋め立て地開発調査特別委員の一人、吉田順平市議は「われわれの要請は、空き地をなんとかしようという内容だった。業種制限まで外せとは言っていない。いきなりだ」と反発する。同市はこれまで公害の洗礼を受けているので、市民の間はまだ目立った反対の動きはないが、不安を感じる市民は少なくないという。

制限撤廃措置を急ぐ声に對し同市は「未利用地を放置しておくと、公害についても市公害防止条例で十分規制できる。製造業といっても公害のない。公害については市公害防止条例で十分規制できる。」

先端技術産業を考えており問題はない」と反論するが、財源探しになりふりかまっていられぬ自治体の苦しさを感じていて、ともいえる。

環境庁は公害防止事業団(城戸謙次理事長)と連携し、来年度から緩衝緑地の多目的利用や融資対象の拡大などを進めることになった。臨時行政調査会の最終答申で同事業団の業務の改善を強く求められたため、今後さらに公害防止事業団法の改正も含めた抜本的改革を計る。

具体的には来年度、千葉県習志野市の湾岸道路沿いに広がる干潟(五十ハチ)を緩衝緑地として取り囲み、鳥類観察施設付きの「バードサンクチュアリ(野鳥の楽園)」づくりに着手する方針。自動車騒音の低減も目指しており、事業費は四年間で五百五十億円を見込んでいます。

また、来年三月にジェット機が就航する予定の富山空港周辺に八杉の緩衝緑地を設け、近隣住宅地への航空騒音を防止することとしている。事業費は三年間で二十億円の見込み。

融資業務については、湖泊で深刻化している富栄養化対策の一環として、霞ヶ浦や琵琶湖などの周辺工場が排水処理施設を導入する場合、新たに融資対象とする方針。湖泊汚濁原因の半分以上は生活雑排水対策に

「このままでは、数年先に『つばらい建』という。これに対し同市議会の野党議員の中には「財政難を理由に公害規制を緩和するもので危険」と警戒する声も出ている。埋め立て地開発調査特別委員の一人、吉田順平市議は「われわれの要請は、空き地をなんとかしようという内容だった。業種制限まで外せとは言っていない。いきなりだ」と反発する。同市はこれまで公害の洗礼を受けているので、市民の間はまだ目立った反対の動きはないが、不安を感じる市民は少なくないという。

制限撤廃措置を急ぐ声に對し同市は「未利用地を放置しておくと、公害についても市公害防止条例で十分規制できる。製造業といっても公害のない。公害については市公害防止条例で十分規制できる。」

先端技術産業を考えており問題はない」と反論するが、財源探しになりふりかまっていられぬ自治体の苦しさを感じていて、ともいえる。

習志野 埋め立て地 企業制限の撤廃

財政難 公害が心配

三万円の借金を負った計算。も入るから「目前で学校の「このままでは、数年先に『つばらい建』という。これに対し同市議会の野党議員の中には「財政難を理由に公害規制を緩和するもので危険」と警戒する声も出ている。埋め立て地開発調査特別委員の一人、吉田順平市議は「われわれの要請は、空き地をなんとかしようという内容だった。業種制限まで外せとは言っていない。いきなりだ」と反発する。同市はこれまで公害の洗礼を受けているので、市民の間はまだ目立った反対の動きはないが、不安を感じる市民は少なくないという。

制限撤廃措置を急ぐ声に對し同市は「未利用地を放置しておくと、公害についても市公害防止条例で十分規制できる。製造業といっても公害のない。公害については市公害防止条例で十分規制できる。」

先端技術産業を考えており問題はない」と反論するが、財源探しになりふりかまっていられぬ自治体の苦しさを感じていて、ともいえる。



要請書は、そんな同市の姿勢を端的に表すように、まず埋め立てそのものについて「無制限に進行するとき、海水汚濁が深刻化し、潮流の逆

た。四つの業種とは海運、倉庫、建設、レジャーで、海運をだんだん許さなくなってきた。同市の五十七年度末の債権は三百五億四千万円に達し、同年度決算での歳入総額二百六十五億九千万円を上回った。市民一人当たり二十

朝日新聞 1983.9.18

ふかんど

第279号

1983.11.20

谷津干潟愛護研究会
 〒275 習志野市谷津字ヤ七 郵便5号
 電話〇四七四一五一一五〇四四
 文責 森田三郎

会費年2000

創立 1974.12.9

森田のことである。お金、いわゆる「貯金」のこと。森田の生活、ほんとうに貧乏になった。今、一ヶ月分の喰って行く金も無いのである。

よくそのまま、生慾りせずにかんばって、いじり自分ながら、あきん、心細く、かつ感心して、いじ。

か、己ん自ら雇んだこの道、自分を相手に相談し、カづけ、その原因を結果も他の誰にも求めることはない。

夜中、しんと世間が寝静まった頃、この先、将来、生活のことを想うと、それこそとまどい、とす。否、こんなこと、今まで何十回としてきたこと。何だ

か、みぞ落ちのあたりが、ぎゅーっとくぼんでくつようなのだ。

「よし、何かあったら、いっつー」

メダカの池にパンのミミシ、最近、メダカの池に、カモメがパンのミミシを食べに来るようになり、ました。おまけに、ハトもすっかり居ついてしまい、すぐに飛んで来て、ミミシを投げるのを待っているのです。



戸張氏は、住職でもあり、禅を教導しておられた方であり、おあり、地元の「主」、「生き字引き」のような人です。

長年、谷津三丁目の町会と、愛犬、パチヤを厚ん、自転車で散歩にきています。

ライフ13号58頁 ↓

わたしの谷津干潟

自然と人間

戸張 瑛卓

戦時中の疎開先から、現在の谷津三丁目に移居して来たのは、終戦も二年目に達した初夏のことだった。転入制限が解けたら、すみやかに都内に移転する心算だったが、その後戦場を都内に得て通勤する間に、此の考えはすっかり変わってしまった。勤務を了えて遊園駅に降り立つと、強い潮の香が鼻を突く。夏の夜は虫が飛び交い、休日には遠浅な海浜で思い切り遊泳ができた。又春ともなれば浅瀬掘りや蛤採りを楽しむこともできた。つまり衣食に追われた敗戦直後の切迫した気持が沈静するにつれて、人間の住環境が何ものにも替え難い尊いものであることに気付かされたからだ。

さて、ゼロ経済が建ち直り、高度成長時代を迎えると、京葉工業地帯の造成と都民のベッドタウン設定の構想が産れ、湾岸地区の埋立てが強行され、かつて白砂青松とまでは云えないまでも、製塩所があり、沖に白帆が望めた谷津海浜も、忽ち狭少な現在の干潟を残す外は、悉く埋立てられてその姿を消してしまった。残された干潟は次第に臭気漂う下水の溜り場となり、ゴミ捨場と化していった。

かつて川端康成氏が、スエーデン・アカデミックで、ノーベル文学賞の受賞記念に、「美しき日本の顔」と題して講演された際、その中心に引用された古歌がある。今から七百年前、鎌倉期の半、日本を代表する偉人の一人に依つて詠まれた比の歌は、正しく「美しき日本の永遠の顔」を、そして「人間本来の普通の面目を飾るところなく詠い究めている。



春は花 夏ほととぎす
 秋の月 冬雪さえて
 涼しかりけり
 (道元禅師詠)

この身をば

干潟になぞらえ ^{とせ} 十年なる

負担を軽くしめん

何百回を経験し、テスト済み
のことなんです。

ヤル気が無いから、やらな
いとこのと半面の真理。又、
やろうとしなかりから、ヤル気
が全無というのと半面の真
理。だから、得な方を取
ろうじやござりませんか。ね
え、そうでしょう。

私産の日常を話不般、これ
に似た様なこと、応用出来る
こと、すなわち思い当ること
がたくさんあるとは思いませ

皆様の皆様のご多幸、心かり祈っております。

- ・ 行政との交渉。
- ・ 渡り鳥の敏殖調査。
- ・ 渡り鳥の保護の為の、監視とパトロール。
- ・ 谷津干潟クリーン作戦（オミ日・火曜日）。
- ・ 谷津干潟市民クリーン作戦（オ一日曜日）。
- ・ フローネの小屋、バンブーハウスの管理。
- ・ くずかご、ドラム缶、クズ入れ缶の管理。
- ・ メガカの池の維持と作業。
- ・ 干潟に降りるハシゴ、通信箱の維持、修理。
- ・ 谷津干潟慰霊碑、通信箱の管理。
- ・ 堤防のそばに植えた100本の松の木の手入れ。
- ・ 報道関係への情報提供。
- ・ 公民館、銀行でのパネル展。
- ・ 干潟保護運動の為のいろくろな啓蒙活動。

ふかんど

号 280

1984.1.1

谷津干潟愛護研究会
〒275 習志野市谷津7-7-7 鶴荘E号
電話〇四七四一五〇四四
文責 森田三郎

会費 年2000

創立 1974.12.9

ふかんど... 今の谷津干潟の上の方一帯が、「鬼河」と呼ばれてキリネがすんでいた頃。

会員のみなさん、

あけまして、おめでとうござります。

昨年中は、いろんな人から、いろんなお力添えを頂き、本当にありがとうございました。

今年と私産は、ただひたすら、嘗々と、

そして又、綿々と実践活動に効んでいきたくと念じております。

ある時はドロと汗にまみれ、暑々寒々に身をさいなまれ、孤独

や空しさ、無力感や絶望感の暗い雲の中に身をおくかとしれません。

でき、やりましょう。とにかく、やりま

しょう。何でもいいから、やりましょう。

どだい、ヤル気なんてうのは、やれば、

そして、やってれば出て来るとんです。こ

れは、私（森田）が、いろんな時と所で、

何百回を経験し、テスト済み

のことなんです。

ヤル気が無いから、やらな

いとこのと半面の真理。又、

やろうとしなかりから、ヤル気

が全無というのと半面の真

理。だから、得な方を取

ろうじやござりませんか。ね

え、そうでしょう。

私産の日常を話不般、これ

に似た様なこと、応用出来る

こと、すなわち思い当ること

がたくさんあるとは思いませ

かたくさんあるとは思いませ

かたくさんあるとは思いませ

か。人体の生命を支える、諸々の器管だつて、

私産が何を、どんな気分で行うが、生きて

気があろうが無かつうが、みんなく、ち

やんとそれそれ機能してくれてるじゃあり

ませんか。ぐずく言うのは、やめよう、

閑話休題、年頭にあたり、大部分の会員の

方は知らなれと思うので、普段私産の活動し

ていた目録、「曼陀羅」を知って下さい。

・ 約200のテーブルとベンチの維持、管理。

・ 公衆トイレの清掃と紙の備え付け。

・ 約60の看板・案内板・標識の維持、管理。

・ 「谷津干潟友の会」(休日ごとに観覧会、

説明、案内、望遠鏡や図カシの貸出し)。

・ 干潟と水路を毎日のパトロール。

・ 行政との交渉。

・ 渡り鳥の敏殖調査。

・ 渡り鳥の保護の為の、監視とパトロール。

・ 谷津干潟クリーン作戦（オミ日・火曜日）。

・ 谷津干潟市民クリーン作戦（オ一日曜日）。

・ フローネの小屋、バンブーハウスの管理。

・ くずかご、ドラム缶、クズ入れ缶の管理。

・ メガカの池の維持と作業。

・ 干潟に降りるハシゴ、通信箱の維持、修理。

・ 谷津干潟慰霊碑、通信箱の管理。

・ 堤防のそばに植えた100本の松の木の手入れ。

・ 報道関係への情報提供。

・ 公民館、銀行でのパネル展。

・ 干潟保護運動の為のいろくろな啓蒙活動。

私産は、毎週日曜日、休日には、必ず干潟に行きます。午後1時~4時、黄色リハンカチの下でボランティア作業。

谷津千潟の鳥の情報

サギ科	ゴイサギ	ハシブトゴイ	ササゴイ	アカサシラサギ	アマサギ	ダイサギ	チウウサギ	コサギ	カラシラサギ	クロサギ	アオサギ	2.0	
ツバメ科	ツバメ	ミサゴ	トビ	ハイネロチュウヒ	マダラチュウヒ	チュウヒ	ハヤブサ科	シロハヤブサ	ハヤブサ	チゴハヤブサ	コチュウゲンボウ	チュウゲンボウ	2.0
フクロウ科	トラフズク	コムシズク	ヒバリ科	ヒバリ	ハマヒバリ	ツバメ科	シヨウドウツバメ	ツバメ	アトリ科	アトリ	カワラヒワ	マヒワ	2.0
ヒヨドリ科	シロガシラ	ヒヨドリ	モズ科	チゴモズ	モズ	セキレイ科	セキレイ	ハクセキレイ	セグロセキレイ	マミジロタヒバリ	コマミジロタヒバリ	ヨロップバビンスイ	2.0
ホオジロ科	シベリアジュリン	オオジュリン	ホオジロ	コジュリン	ヒタキ科	ツグミ亜科	ジョウビタキ	ノビタキ	クヱイス	コヨシキリ	オオヨシキリ	ツグミ	2.0
ムクドリ科	ムクドリ	カラス科	ハシボソガラス	ハシブトガラス	クイナ科	クイナ	オオクイナ	ヒメクイナ	ヒクイナ	シマクイナ	マミジロクイナ	シロハラクイナ	2.0
カイツブリ科	カイツブリ	ハジロカイツブリ	ミミカイツブリ	アカエリカイツブリ	カンムリカイツブリ	ハタオリドリ科	ニューナイスズメ	スズメ					

ガンカモ科	ゴブハクチョウ	オオハクチョウ	コハクチョウ	リュウキュウガモ	アカツクシガモ	ツクシガモ	カンムリツクシガモ	オシドリ	マガモ	カルガモ	コガモ	202	
子ドリ科	ハジロコチドリ	コチドリ	イカルチドリ	シロチドリ	メダイチドリ	オオメダイチドリ	オオチドリ	コバシチドリ	ムナグロ	ダイゼン	ゲリ	162	
シギ科	キョウジョシギ	トウネン	ヒバリンギ	オジロトウネン	ヒメウズラシギ	アメリカウズラシギ	ウズラシギ	ハマシギ	サルハマシギ	コオバシギ	オバシギ	2777	
カモメ科	ユリカモメ	セグロカモメ	オオセグロカモメ	シロカモメ	カモメ	ウミネコ	ズグロカモメ	クビワカモメ	ミヅユビカモメ	ソウゲカモメ	ハジロクロハラアジサシ	クロハラアジサシ	5
セアカシギ科	セアカシギ	ソリハシセアカシギ	ヒレアシギ科	ハイイロヒレアシギ	アカエリヒレアシギ	ツバメ子ドリ科	タマシギ	ミヤコドリ科	ミヤコドリ	カイツブリ科	カイツブリ	ハジロカイツブリ	5

子ドリ科	ハジロコチドリ	コチドリ	イカルチドリ	シロチドリ	メダイチドリ	オオメダイチドリ	オオチドリ	コバシチドリ	ムナグロ	ダイゼン	ゲリ	252	
シギ科	キョウジョシギ	トウネン	ヒバリンギ	オジロトウネン	ヒメウズラシギ	アメリカウズラシギ	ウズラシギ	ハマシギ	サルハマシギ	コオバシギ	オバシギ	2777	
カモメ科	ユリカモメ	セグロカモメ	オオセグロカモメ	シロカモメ	カモメ	ウミネコ	ズグロカモメ	クビワカモメ	ミヅユビカモメ	ソウゲカモメ	ハジロクロハラアジサシ	クロハラアジサシ	5
セアカシギ科	セアカシギ	ソリハシセアカシギ	ヒレアシギ科	ハイイロヒレアシギ	アカエリヒレアシギ	ツバメ子ドリ科	タマシギ	ミヤコドリ科	ミヤコドリ	カイツブリ科	カイツブリ	ハジロカイツブリ	5

企業方長に、左の文書(二通)を提出しました。
これは、昭和五十八年5月の「三者会談」の合意を一方的に無視して、企業方が自然緑地の一部分を道路公団に「無断売却」したことをいふ、その「代替地」に関するものです。昨年12月に第一回の話し合いが持たれ、今後とも、続けていく予定です。

千葉県企業庁長 若月 弘 殿
私達は一年余り前から、貴庁が、昭和五十四年五月の谷津千潟自然緑地に
関する「三者会談の協定」を破棄して、建設省千葉国道事務所に「無断売却」
した「其の代替地」についての話し合いを強く求めてまいりました。
しかしながら、私達の度重なる要望にもかかわらず、これまで唯一度も
「庁長自身」の御返答並びに御連絡をいただくことなく今日に至ってま
す。
そのため、私達は、何故、若月弘庁長が私達との話し合いに応じないのか、
その正当なる理由を御教示いただきたく思っております。
つきましては、事実関係をもとに、その理由を、文書にて御回答下さいま
す。この回答期限は、
昭和五十八年十二月七日(水) 正午 と致します。
なお、私達が何故、若月弘庁長との話し合いを希望しているのか、その理
由を告知しにしたい場合は、卒直に当会に御問い合わせ下さい。事実を挙
げて喜んで御説明致します。

千葉県企業庁長 若月 弘 殿
貴庁の、千葉県並びに自然保護団体に無断売却せし其の代替地に関する件
予てより、御連絡、通知、質問、相談、及び要望の幾度も重ねて来し事は貴
庁の既知知る処。
併し乍ら何等具体的、誠意有る事無く、我々の久しく待ちしの中に今日
有様に至りし事。
由は如何とするも其の奈辺の微細すら当方に了解能わざる貴庁の終始一貫せ
し態度と言語なる由、当方の失望、落胆其の数を重ね来たりし事。
因って此処に、別図の如き、当方の主旨を御送致申し上げます。
尚、貴庁の「無断売却」せし個所の「代替地」たるべき「新規の境界線」の「
其の策定」に質問、異議有る時、左記の期限・期日迄に御連絡頂きたき事宜し
く御願ひ申し上げます。
昭和五十八年十一月十二日(土)午後五時
右を以って其の期限・期日と為す。

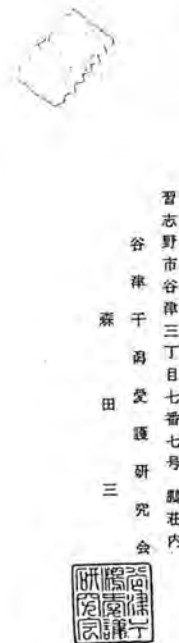
千葉県企業庁長 若月 弘 殿
私達は一年余り前から、貴庁が、昭和五十四年五月の谷津千潟自然緑地に
関する「三者会談の協定」を破棄して、建設省千葉国道事務所に「無断売却」
した「其の代替地」についての話し合いを強く求めてまいりました。
しかしながら、私達の度重なる要望にもかかわらず、これまで唯一度も
「庁長自身」の御返答並びに御連絡をいただくことなく今日に至ってま
す。
そのため、私達は、何故、若月弘庁長が私達との話し合いに応じないのか、
その正当なる理由を御教示いただきたく思っております。
つきましては、事実関係をもとに、その理由を、文書にて御回答下さいま
す。この回答期限は、
昭和五十八年十二月七日(水) 正午 と致します。
なお、私達が何故、若月弘庁長との話し合いを希望しているのか、その理
由を告知しにしたい場合は、卒直に当会に御問い合わせ下さい。事実を挙
げて喜んで御説明致します。

千葉県企業庁長 若月 弘 殿
私達は一年余り前から、貴庁が、昭和五十四年五月の谷津千潟自然緑地に
関する「三者会談の協定」を破棄して、建設省千葉国道事務所に「無断売却」
した「其の代替地」についての話し合いを強く求めてまいりました。
しかしながら、私達の度重なる要望にもかかわらず、これまで唯一度も
「庁長自身」の御返答並びに御連絡をいただくことなく今日に至ってま
す。
そのため、私達は、何故、若月弘庁長が私達との話し合いに応じないのか、
その正当なる理由を御教示いただきたく思っております。
つきましては、事実関係をもとに、その理由を、文書にて御回答下さいま
す。この回答期限は、
昭和五十八年十二月七日(水) 正午 と致します。
なお、私達が何故、若月弘庁長との話し合いを希望しているのか、その理
由を告知しにしたい場合は、卒直に当会に御問い合わせ下さい。事実を挙
げて喜んで御説明致します。

千葉県企業庁長 若月 弘 殿
私達は一年余り前から、貴庁が、昭和五十四年五月の谷津千潟自然緑地に
関する「三者会談の協定」を破棄して、建設省千葉国道事務所に「無断売却」
した「其の代替地」についての話し合いを強く求めてまいりました。
しかしながら、私達の度重なる要望にもかかわらず、これまで唯一度も
「庁長自身」の御返答並びに御連絡をいただくことなく今日に至ってま
す。
そのため、私達は、何故、若月弘庁長が私達との話し合いに応じないのか、
その正当なる理由を御教示いただきたく思っております。
つきましては、事実関係をもとに、その理由を、文書にて御回答下さいま
す。この回答期限は、
昭和五十八年十二月七日(水) 正午 と致します。
なお、私達が何故、若月弘庁長との話し合いを希望しているのか、その理
由を告知しにしたい場合は、卒直に当会に御問い合わせ下さい。事実を挙
げて喜んで御説明致します。

尚、右の期限・期日迄に何等連絡等の無き場合、「無断売却代替地」たるべき
「新規境界線」の「其の策定」に貴庁は何等一切全ての事項に賛成・同意。
確認せしものと解する事、予め御通達申し上げます。
昭和五十八年十一月五日

谷津千潟愛護研究会が貴庁に提出しました三通の文書、
昭和五十七年九月三日付 「要請書」
昭和五十七年九月九日付 「要請書」
昭和五十七年九月十日付 「要請書」
に対する貴庁の御回答は、提出期限をはるかに過ぎていたにもかかわらず、
未だ当会に届いておりません。よって、併せてここに、貴庁が速かに御回
答下さいませよう強く御願ひ申し上げます。
昭和五十八年十一月二十八日



谷津千潟愛護研究会
会長 森 田 三
昭和五十八年十一月二十八日

調査者 石川勉
1983.12.31